

MITSUBISHI

三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ50 シリーズ

取扱説明書 **基本操作版**



mille^osense Lane Assist open^{(((•)))}info PremiDIA



ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

もくじ

はじめに

ご使用前に	6
免責事項について	6
ご使用上の注意	7
OpenInfo について	8
走行中の操作制限について	8
お手入れのしかた	8
商標について	8
お客さまへ安全上のご注意	10
本書のみかた	14

基本操作

本機について	15
本体パネルについて	15
起動する	16
SD カードについて	17
SD カードを挿入する	18
SD カードを取り出す	19
タッチ操作のしかた	20
～にタッチするとき	20
リストから項目を探するとき	20
タブスイッチがあるとき	20
文字入力のしかた	21
文字入力用キーボード	21
施設名称入力用キーボード	22
各メニュー画面について	23
NAVI メニュー	23
AV メニュー	24
INFO メニュー	25

NAVI

基本操作

ナビゲーション機能について	26
ナビゲーションとは	26
GPS アンテナについて	26
地図データについて	26
ナビ画面について	27
地図表示内容について	27
現在地画面を表示する	29
NAVI メニューを表示する	29
地点メニューを表示する	30
サブメニューを表示する	30
地図画面を選択する	31
地図を操作する	32
スケールの切り換え	32
地図をスクロールする	32
レーンアシストを使う	33
ご使用になるには	33
ご利用上の条件	34
表示内容について	35
レーンアシスト機能を一時停止する	35
ブザー音について	35
高速道路情報について	36
表示内容について	36

目的地の設定

自宅を目的地に設定する	37
探した場所を目的地に設定する	38
探索条件設定画面について	39

ルートの確認・変更

ルートの確認	40
次に曲がる交差点を確認する	40
全ルートを確認する	40
ルートの変更	41
ルートを消去する	41

登録地の設定 42

登録地を設定する.....42
自宅を登録する.....42
現在地を登録する.....42
登録地を変更する.....43
登録地情報を変更する.....43
登録地情報画面について.....43

VICS 機能 44

VICS について.....44
VICS のメディアと特徴.....44
表示内容について.....45
VICS センターへのお問い合わせ.....47
オンラインの情報を受信する.....48

DSRC 機能 49

DSRC サービスとは.....49
DSRC とは.....49
DSRC サービスについて.....49

AV

オーディオ機能について 50

基本操作.....50
オーディオを ON/OFF する.....50
ディスクを挿入する / 取り出す.....51
ディスクの取り扱いについて.....52
再生できるディスクの種類.....52
音楽ファイル
(MP3/WMA/AAC) について.....53
フォルダの構成について.....53

ラジオ / 交通情報 54

ラジオを聴く.....54
表示内容について.....54
交通情報を聴く.....55
表示内容について.....55

DISC 56

音楽 CD を聴く.....56
表示内容について.....56
タイトル情報について.....58
ディスクの音楽ファイル
(MP3/WMA/AAC) を聴く.....59
表示内容について.....59
DVD ビデオを見る.....61
DVD ビデオの操作画面を表示する.....61
表示内容について.....62

SD/MusicFolder 65

SD カードの曲を聴く.....65
表示内容について.....65
MusicFolder に録音する.....67
MusicFolder への録音について.....67
録音を開始 / 停止する.....67
MusicFolder を聴く.....68
表示内容について.....69

iPod/USB 72

接続する.....72
iPod を再生する.....73
表示内容について.....73
USB デバイスの曲を聴く.....76
表示内容について.....76

地上デジタル TV 78

テレビ機能について.....78
受信について.....78
miniB-CAS カードについて.....78
テレビを見る.....80
はじめてテレビを見るとき.....80
表示内容について.....81

外部入力機器 83

Bluetooth AUDIO を使う.....83
Bluetooth 対応
オーディオ機器を接続する.....83
表示内容について.....84

INFO

各種情報を確認する 85

エコ情報を確認する	85
表示内容について	85
ETC 情報を確認する	86
ETC とは	86
ETC の履歴を確認する	86
電話を使う	87
携帯電話を接続する	87
電話をかける	88
電話がかかってくると	88
カメラを使う	89
表示内容について	89
表示するには	90
FM 文字情報を見る	91
表示するには	91
メンテナンス情報を確認する	92
メンテナンス情報を表示する	92
バージョンを確認する	94
表示するには	94

本機の設定 95

設定を変更する	95
NAVI の設定	95
AV の設定	95
INFO の設定	96
システムの設定	96
DTV の設定	97

その他

困ったときは	98
こんなメッセージがでたら	98
用語解説	103
ナビ関連用語	103
オーディオ関連用語	105
DVD ビデオ関連用語	106
テレビ関連用語	107
用語索引	108
保証とアフターサービス	111
Gracenote サービスについて	112
Flash エンドユーザーライセンス	114
仕様	115

取扱説明書について

本製品の取扱説明書は次の2部構成になっています。

記載内容について

本書は、別売を含むすべての機器を接続した場合を想定して記載しています。
購入された機種によっては、無い機能や表示されないメニューがあります。

■ 取扱説明書（基本操作版）

本製品の基本的な機能を記載しています。
本製品に同梱されています。



■ 取扱説明書

本製品の機能を十分ご理解いただけるようにすべての機能を詳しく説明しています。

本製品には同梱されていないので、当社ホームページをご覧ください。
URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>



はじめに

あらかじめ知っておいていただきたいことについての説明を行います。

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一来に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱電機は一切の責任を負いません。
本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」(P96)の「本機の初期化」をすることをおすすめします。
また、OpenInfo サービスをご利用になっている場合は、退会手続きを行ってください。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、地図データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。

- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。地図データの内容は予告なく変更される場合があります。地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものもしくは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。

- 本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱電機は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - 寒冷地など、画面が暗い場合があります。
 - 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。

- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporation およびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporation の許可が必要で、また、Rovi Corporation の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。

■ テレビ機能

本書は、内蔵の地上デジタルTVチューナーのテレビ機能について説明しています。

→「テレビ機能について」(P78)

- 本製品は、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送には対応しておりません。
- 本製品はデータ放送には対応しておりません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
 - 映像や音声にノイズが発生する。
 - 映像や音声途切れる。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、テレビの受信状態が悪くなることがあります。

■ iPod/iPhone 再生機能 (オプション)

- ・本機は、iPod/iPhone の音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- ・iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OpenInfo について

OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。

OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。

また、高速道路などの開通道路情報や最新の電気自動車用充電スタンド情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。

OpenInfo では、以下の機能がご利用になれます。

- ・スマートループ渋滞情報[®](→P44)
- ・開通道路情報更新
- ・充電スタンド情報更新

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。別紙「OpenInfo サービスユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。

走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

お手入れのしかた

- ・本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- ・汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

商標について

- ・「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- ・製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- ・なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

 openinfo

OpenInfo は、三菱電機の出願中の商標です。

 mille sense
Lane Assist

「Mille Sense」および「ミルセンス」は、三菱電機の出願中の商標です。

 Music
FOLDER

ミュージックフォルダは、三菱電機の登録商標です。

 DOLBY
DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Premi DIA

PREMIDIA は、三菱電機の出願中の商標です。

 SD
HC

SDHCはSD-3C,LLCの商標です。

 VICS

VICS ロゴは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

 Bluetooth[®]

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc が所有する商標であり「三菱電機株式会社」はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

 ETC

ETC ロゴは、財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。

 DSRC

DSRC ロゴは、一般社団法人 ITS サービス推進機構 (ISPA) の登録商標です。

 MAPCODE[®]

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

 Smart Loop

本製品は、パイオニア (株) が運営・管理するスマートループ渋滞情報[®]を使用しています。スマートループ渋滞情報[®]はパイオニア (株) の登録商標です。

Made for

 iPod
  iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPod および iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod



iPod
5th generation
(video)
60GB 80GB



iPod
5th generation
(video)
30GB

iPod classic



iPod classic
160GB (2009)



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
80GB

iPod nano



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
2nd generation
(aluminum)
2GB 4GB 8GB



iPod nano
1st generation
1GB 2GB 4GB

iPod touch



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB

iPhone



iPhone 4
16GB 32GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 3G
8GB 16GB

※ 「iPod nano 1st generation」、 「iPod nano 2nd generation (aluminum)」、 「iPod nano 6th generation」、 「iPod 5th generation (video) 30GB」、 「iPod 5th generation (video) 60GB 80GB」 は、ビデオ再生に対応しておりません。(音楽再生は可能。)

※ iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告



禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機は DC12V マイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。**
火災や感電、故障の原因となります。



必ず行う

- **ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。**
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- **運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。**テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

警告



必ず行う

- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起きたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造しない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないようにください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。
カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。



必ず行う

- モニターパネルの開閉や角度調整時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



指に注意

- ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- モニターパネルの開閉や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス⊖端子を外す。ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウinkerなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- 必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)
走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

⚠ 注意



禁止

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。
本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。

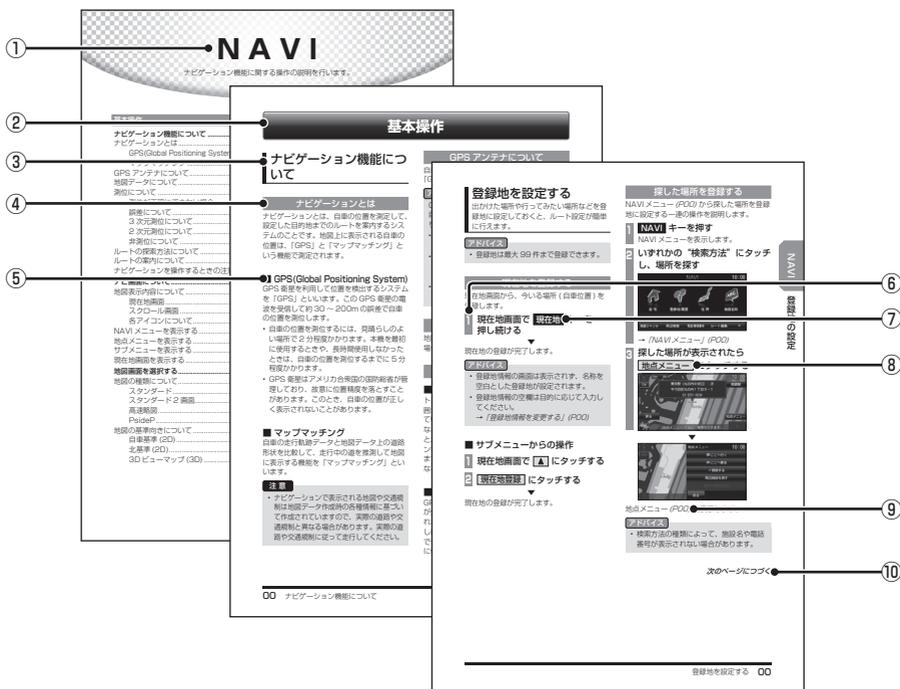


必ず行う

- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 取付要領書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 携帯電話を使用する場合は、携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容とは異なります。

① 編見出し

主な機能に分けて分類しています。

② 章見出し

編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認することができます。

③ 大見出し

章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ 中見出し

大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ 小見出し

中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ 操作手順

操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ **○○○○** キーまたは [○○○] キー

パネルでの操作キーを示します。

⑧ **○○○** または [○○○]

画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

⑨ (P○○○)

参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑩ 次のページにつづく

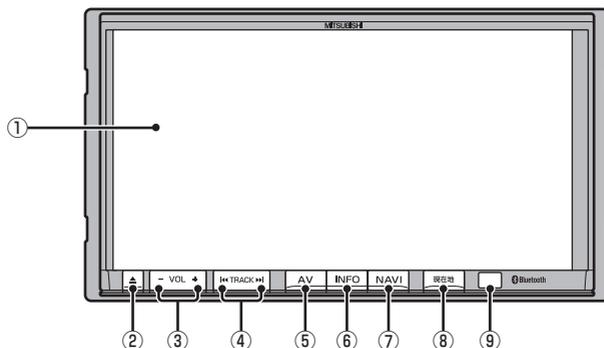
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

本機について

本体パネルについて

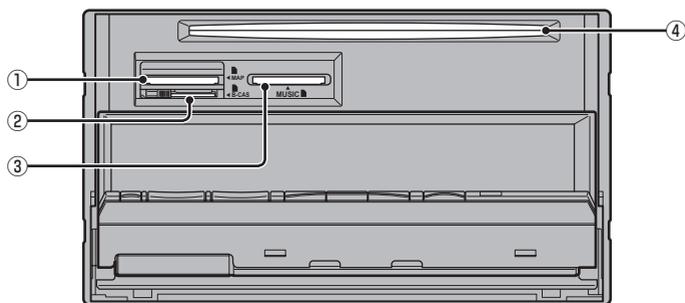
本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。

パネルが閉じているとき



- ① ディスプレイ**
このディスプレイに表示されるタッチスイッチにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。
→「タッチ操作のしかた」(P20)
- ② ▲ キー**
モニターパネルの開閉画面を表示します。パネルを開閉するときや、ディスクを出し入れ(P51)をするときに使います。
- ③ -VOL キー / VOL+ キー**
オーディオ機能の音量を調節することができます。
- ④ ◀TRACK キー / TRACK▶ キー**
CDなどのトラックやラジオの選局が行えます。また、DVDのチャプターの切り換えが行えます。
- ⑤ AV キー**
AVメニューを表示します。オーディオソースを選ぶときに使用します。→「AVメニュー」(P24)
- ⑥ INFO キー**
INFOメニューを表示します。情報確認や各種設定を行うときに使用します。→「INFOメニュー」(P25)
- ⑦ NAVI キー**
NAVIメニューを表示します。ナビゲーションの各機能をご利用になれます。→「NAVIメニュー」(P23)
- ⑧ 現在地 キー**
ナビゲーション画面の現在地画面(P27)を表示します。
- ⑨ リモコン受光部**
別売のドライビングリモコンの信号を受光します。

パネルが開いているとき



① MAP スロット

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでナビ機能のバージョンアップを行うことができます。

② miniB-CAS カード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。

→ 「miniB-CAS カードを入れる」(P79)

※ 付属の miniB-CAS カード以外のものを入れないでください。

③ MUSIC スロット

音楽用 SD カードを挿入します。音楽用 SD カードの再生 (P65) や MusicFolder への録音 (P68) が行えます。また、地図データを更新することもできます。

④ ディスク挿入口

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。

→ 「ディスクを挿入する」(P51)

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを “ACC” または “ON” にする



オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面 (ラスト画面) に切り換わります。

お知らせ

- 車両点検などでバッテリーを外すと、セキュリティロック時は、パスワード入力画面を表示します。パスワードを入力するまで本機をご使用になれませんので「起動時セキュリティの設定」(P96) で設定したパスワードを入力してください。

アドバイス

- イグニッションキーを “ACC” または “ON” した直後は、ナビゲーション機能の場合、地図カードからのデータ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能があります。読み込み完了までしばらくお待ちください。

SD カードについて

本機はナビゲーション機能で使用する地図カードおよびオーディオ機能で使用する音楽用 SD カードの 2 種類が SD カードに対応しております。

警告



必ず行う

- 事故防止のため、SD カードは乳幼児の手の届かないところに保管する。

万一、お様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- 地図カードは本機の MAP スロット以外に挿入しないでください。故障の原因となります。もしくはデータが破壊、使用できなくなる場合があります。
- SD カードの抜き差しは、駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。
- SD カードでデータを読み書きしているときに、SD カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。記録されたデータの消失または破損の恐れがあります。
- SD カード挿入口に異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- SD カードの挿入口は、MAP スロットおよび MUSIC スロットの 2 種類ありますので、SD カードを挿入する際は間違わないようご注意ください。

お知らせ

- SD カードのデータ消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットした SD カードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になる SD カードは本機でフォーマットしてからご使用ください。
- SD カードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- SD カードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SD カードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SD カードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでに SD カードが挿入された状態で他の SD カードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SD カード以外のもを挿入しないでください。SD カード以外のもを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

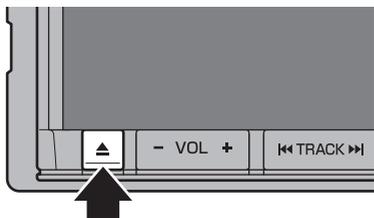
本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

SD カードを挿入する

■ 地図カードの場合

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。
はじめに本体に地図カードを挿入する必要があります。

1 ▲ キーを押す



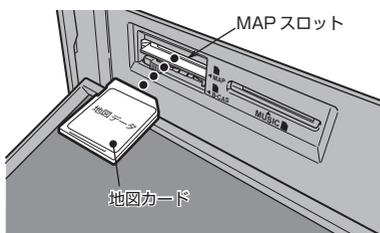
2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MAP スロットに地図カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意

- MUSIC スロット側に差し込まないでください。

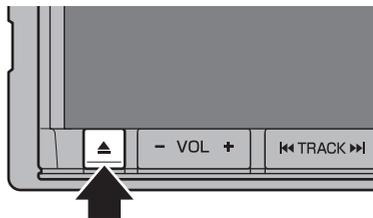
4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

▼
ナビゲーション機能の使用が可能となります。

■ 音楽用 SD カードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを挿入します。

1 ▲ キーを押す



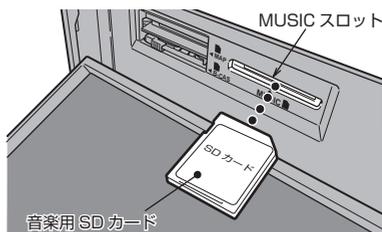
2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MUSIC スロットに音楽用 SD カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます



注意

- MAP スロット側に差し込まないでください。

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

▼
オーディオ機能の SD カードが使用可能となります。

SD カードを取り出す

■ 地図カードの場合

地図データのバージョンアップを行う際に行います。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでバージョンアップが行えます。

■ 音楽用 SD カードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを取り出します。

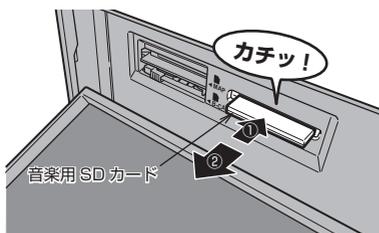
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MUSIC スロットの 音楽用 SD カードを「カチッ」と 音がするまで押す



音楽用 SD カードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

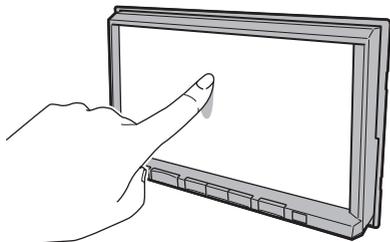
4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

タッチ操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接タッチして操作するタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして“決定”する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。



また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

リストから項目を探るとき

▼、▲ にタッチすると1つずつリストを選ぶことができます。

▽、△ にタッチすると1ページごとに表示を送ることができます。



探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

タブスイッチがあるとき

分類がタブスイッチで分かれている場合があります。

分類のタブスイッチに直接タッチすることで、分類の先頭までリストが移動します。



分類の数が多いときは、◀前ページ, ▶次ページ が表示されます。

◀前ページ, ▶次ページ にタッチすることで分類のタブスイッチを1ページずつ送ることができます。



文字入力のかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。
“オレンジ色の文字”は確定前の文字で[変換]で漢字に変換できます。
“黒色の文字”は、確定済みで変換はできません。

② カーソル

┃で表示され、┃の左側に文字が入力されます。

③ 小文字 / 大文字

タッチで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

④ 半角 / 全角

入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑤ ひらがな

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑥ カタカナ

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑦ 英数

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑧ 記号

入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑨ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑩ 変換

確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。

⑪ 無変換

確定前の文字を変換せずに確定します。

⑫ ◀, ▶

┃の位置を移動します。

⑬ 入力キーボード

タッチで表示されている文字を入力できます。

⑭ 入力完了

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑮ 全消去

入力中の文字をすべて削除します。

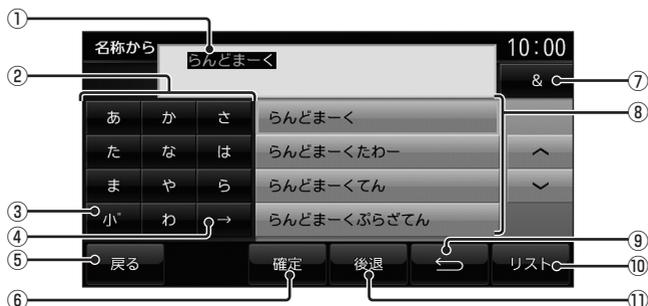
⑯ 1文字消去

入力中の文字を一文字削除します。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないタッチスイッチや別のタッチスイッチになることがあります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。

施設名称入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

“白色の文字”は現在入力中（繰り返しタッチ中）の文字です。

“オレンジ色の文字”は確定前の文字です。

“黒色の文字”は、確定済みの文字です。

② 入力キーボード

タッチで表示されている文字を入力できます。同じ文字を繰り返しタッチすることで、“あ→い→う→え→お→あ・・・”などのように入力できます。

③ 小

繰り返しタッチ中の文字を拗音（ようおん）、促音→濁点→半濁点の順に変換します。

④ →

繰り返しタッチ中の状態を解除します。未確定の文字がある場合は、文字を確定します。

⑤ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑥ 確定

未確定の文字を確定します。

⑦ &

①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加することができます。キーワードは3語まで指定することができます。

⑧ 入力候補リスト

入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。

タッチで入力文字表示部へ入力します。

⑨ ←

繰り返しタッチ中の文字を1つ前の文字に戻します。

⑩ リスト

入力した文字の検索結果を表示します。

⑪ 後退

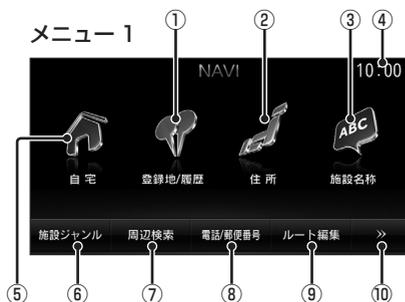
未確定の文字を1文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。タッチし続けるとまとめて削除することができます。

各メニュー画面について

各キーを押すことで、NAVIメニューやAVメニュー、INFOメニューからさまざまな機能を使うことができます。

NAVIメニュー

[NAVI]キーを押して表示するNAVIメニューについて説明します。



メニュー 2



① 登録地 / 履歴

登録地を呼び出します。
また検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

② 住所

住所から場所を探します。

③ 施設名称

施設の名称を入力し場所を探します。

④ 時計

24時間制で現在時刻を表示します。

⑤ 自宅

自宅を登録することができます。(P42) また、登録した自宅を目的地に設定することができます。(P37)

⑥ 施設ジャンル

コンビニやガソリンスタンドなど、分類ごとに場所を探することができます。

⑦ 周辺検索

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探することができます。

⑧ 電話 / 郵便番号

電話番号や郵便番号を入力して施設を探することができます。

⑨ ルート編集 (P41)

設定済みのルートを編集や削除するときに使用します。

⑩ >>

メニュー 2 を表示します。

⑪ MAPCODE

探している場所のマップコードが分かっている場合に使用します。

⑫ 観光ルート

観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定します。

⑬ <<

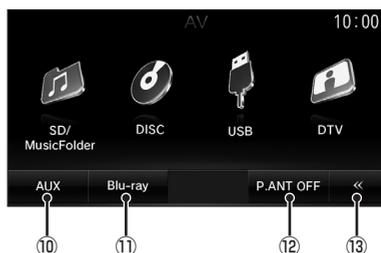
メニュー 1 を表示します。

AV メニュー

[AV] キーを押して表示する AV メニューについて説明します。



メニュー 2



- ① **DISC**
本機に挿入された各メディアの再生を行います。
音楽 CD (→ P56)
MP3/WMA/AAC のディスク (→ P59)
DVD ビデオ (→ P61)
- ② **USB**
iPod が本機に接続されていれば、**iPod**^{※1} に変わり、タッチすると iPod 画面を表示します。→「iPod を再生する」(P73)
USB デバイスが本機に接続されていれば、**USB メモリ**^{※1} に変わり、タッチすると USB 画面を表示します。
→「USB デバイスの曲を聴く」(P76)
- ③ **DTV** (P78)
内蔵の地上デジタル TV チューナーを使った地上デジタル TV 放送をご覧になることができます。
- ④ **SD/MusicFolder**^{※1}
MUSIC スロットに挿入された、音楽用 SD カード内の音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を再生することができます。
→「SD カードの曲を聴く」(P65)
また、MUSIC スロットに挿入された、SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生することができます。→「MusicFolder を聴く」(P68)
- ⑤ **Bluetooth AUDIO**^{※1} (P83)
Bluetooth 対応オーディオ機器が本機に接続されていれば、Bluetooth AUDIO 機能をご利用になれます。
- ⑥ **RADIO** (P54)
ラジオ機能をご利用になれます。
- ⑦ **交通情報** (P55)
交通情報機能をご利用になれます。
- ⑧ **Audio OFF** / **Audio ON** (P50)
オーディオ機能の ON/OFF が行えます。
- ⑨ **》**
メニュー 2 を表示します。
- ⑩ **AUX**^{※1, ※2}
外部入力機器が本機に接続されていれば、外部入力機器の映像を表示します。
- ⑪ **Blu-ray**^{※1}
HDMI 出力に対応している映像機器 (Blu-ray[®] プレーヤーなど) を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生することができます。
- ⑫ **P.ANT OFF**^{※3}
アンテナ電源端子から電源の供給をやめます。パワーアンテナ装着車でアンテナを格納したいとき (車庫入れ時など) にタッチするとアンテナを格納します。
P.ANT ON^{※3}
“ACC ON” 時にアンテナ電源端子から電源を供給します。
- ⑬ **《**
メニュー 1 を表示します。

※1 別売の部品または外部入力機器、ケーブルが必要です。

※2 別売の外部入出力ケーブルおよび AUX 機器を本機に接続していない場合でも [AUX] は表示されますが、タッチしても映像を表示できません。

※3 表示するには、あらかじめ [システムの設定] → [パワーアンテナの設定] → [手動] にしておく必要があります。
→「パワーアンテナの設定」(P96)

INFO メニュー

[INFO] キーを押して表示する INFO メニューについて説明します。



- ① **エコ情報** (P85)
運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価を確認することができます。
- ② **ETC**^{※1} (P86)
ETC 車載器または DSRC 車載器が接続されている場合に ETC を使用した履歴や料金を確認することができます。
- ③ **電話**^{※2} (P87)
携帯電話が Bluetooth で本機に接続されている場合にハンズフリー機能をご利用いただけます。
- ④ **カメラ**^{※3} (P89)
フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが接続されている場合、カメラの映像を表示します。
- ⑤ **FM 文字情報** (P91)
FM 多重放送による文字情報を確認することができます。
- ⑥ **地図データ更新**
地図データを更新することができます。
- ⑦ **メンテナンス情報** (P92)
お車の各パーツの交換時期を管理することができます。
- ⑧ **設定** (P95)
本機の各種設定が行えます。

※1 別売の接続ケーブルおよび ETC 車載器または DSRC 車載器が必要です。

※2 Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。

※3 別売のフロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが必要です。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作の説明を行います。

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GPS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GPS(Global Positioning System)

GPS 衛星を利用して位置を検出するシステムを「GPS」といいます。この GPS 衛星の電波を受信して約 30 ～ 200m の誤差で自車の位置を測位します。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で 2 分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに 5 分程度かかります。
- GPS 衛星はアメリカ合衆国の国防総省が管理しており、故意に位置精度を落とすことがあります。このとき、自車の位置が正しく表示されないことがあります。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

自車の位置は、GPS 衛星からの微弱な電波を「GPS アンテナ」で受信して測位しています。

アドバイス

- GPS 衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。
- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
 - GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC アンテナを取り付けたりしないでください。
 - 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどある場合があります。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

アドバイス

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

地図画面には現在地画面とスクロール画面 (P28) があります。

■ 現在地画面

[現在地] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① 方位アイコン

タッチすると、地図切替画面を表示します。
→「地図画面を選択する」(P31)

② スケールアイコン

表示されている地図のスケールを示します。
タッチすると、スケールを変更します。
→「スケールの切り換え」(P32)

③ 交差点案内アイコン

次に曲がる交差点までの距離および曲がる方向を示します。タッチすると、交差点案内図を表示します。
→「次に曲がる交差点を確認する」(P40)

④ (VICS スイッチ)

VICS の提供時刻および提供メディア名を表示します。タッチすると、VICS メニューを表示します。
→「VICS メニューについて」(P46)

⑤ 目的地 / 経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、方向および距離を示します。自車が経路から外れるとグレーで表示されます。そのときの時刻と距離は、経路外となった場所から目的地または経由地までの到着予想時刻と距離になります。

⑥ 各アイコン

カメラや電話、オーディオの現在の状態を表示します。→「各アイコンについて」(P29)

⑦ 時計

24 時間制で現在時刻を表示します。

⑧ ルート案内マーク

ガイドされる道路が矢印で表示されます。[表示の設定] の「探索ルート」で [矢印] または [線] を選ぶことができます。
→「NAVI の設定」(P95)

⑨ 自車位置マーク

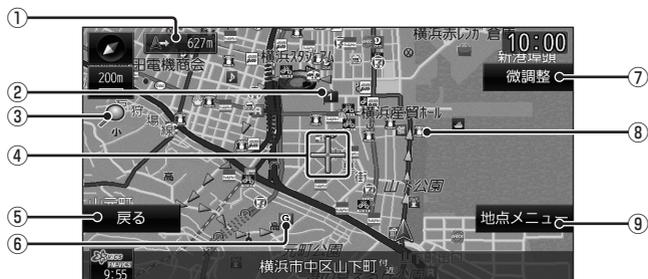
矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑩

サブメニューを表示します。
→「サブメニューを表示する」(P30)

■ スクロール画面

地図スクロール (P32) を行ったときに表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① 自転車位置までの距離

✦ マークから自転車位置までの距離を表示します。

② 1 マーク

設定された経由地を 1 マークで示します。経由地は 5 つまで設定でき、通過する順に 1, 2, 3, 4, 5 と表示します。

③ 拡大マーク

1km スケール以下の地図を表示中、市街地地図が表示できる場合に表示します。

④ 十字マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。地点メニュー (P30) が表示できるときはオレンジ色、表示できないのときは白色で表示します。

⑤ 戻る

1 つ前に戻ります。

⑥ 拡大マーク

設定された目的地 (P37) を 拡大マークで示します。

⑦ 微調整

✦ マーク位置を微調整できます。

⑧ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑨ 地点メニュー

地点メニュー (P30) を表示します。目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

アドバイス

- ・ 道幅の狭い一部の道路 (細街路) は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ・ ⑧ランドマークは [表示の設定] の「ランドマーク」で [表示しない] に設定すると地図画面から表示を消すことができます。→ [NAVI の設定] (P95)
- ・ ⑧ランドマークは種類ごとに表示有無を選ぶことができます。

■ 各アイコンについて

現在地画面 (P27) に表示されるアイコンについて説明します。

	<p>リアカメラのみが装着されている場合 シフトポジションを「R」にすると、リアカメラ映像を表示します。シフトポジションを「R」にしたまま現在地画面に戻ったときのみ  を表示します。  にタッチすると、リアカメラ映像を表示します。</p>
	<p>フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラのみが装着されている場合 現在地画面に常時表示されます。  にタッチすると、サブカメラ映像を表示します。</p>
	<p>すべてのカメラが装着されている場合 現在地画面に常時表示されます。  にタッチすると、シフトポジションが「R」ならリアカメラ映像を表示します。それ以外の場合に  にタッチすると、サブカメラ映像を表示します。</p>
	<p>Bluetooth 接続されていると表示します。 → 「Bluetooth の設定」 (P96)</p>
	<p>電波の強度を表示します。</p>
	<p>電話を使用すると表示します。電話操作パネルを再表示します。</p>
<p>AV アイコン</p>	<p>現在使用しているオーディオソースの状態を表示します。タッチするとオーディオ画面に切り換えることができます。 [表示の設定] の「AV アイコン」で表示有無を選ぶことができます。→ 「NAVI の設定」 (P95)</p>

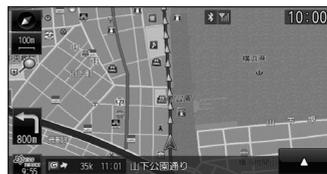
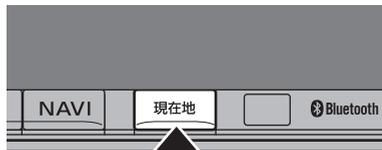
現在地画面を表示する

スクロール画面 (P28) や NAVI メニュー (P29)、地点メニュー (P29)、地点メニュー (P30) などから現在地画面 (P27) を表示することができます。

アドバイス

- AV 画面や INFO 画面などその他の機能からも現在地画面を表示することができます。

1 現在地 キーを押す

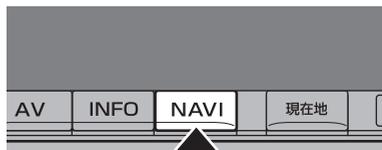


ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

NAVI メニューを表示する

目的地の設定やルート編集がこのメニュー画面から行えます。

1 NAVI キーを押す



NAVI メニューを表示します。

地点メニューを表示する

スクロール (P32) した \oplus 地点を目的地に設定したり登録地に設定したりすることができます。

アドバイス

- 検索結果で表示される地図画面からも [地点メニュー] にタッチすることで、地点メニューを表示することができます。

1 スクロール画面で、 地点メニュー にタッチする



地点メニューが表示され、 \oplus マークから \rightarrow マークに変わります。

ここへ行く	\rightarrow 地点を目的地に設定することができます。
ここへ寄る	\rightarrow 地点を経由地に設定することができます。
登録する	\rightarrow 地点を登録することができます。
周辺施設を探す	\rightarrow 地点周辺の施設を探すことができます。
建物の情報を見る	\oplus 地点が \rightarrow に変わるとその地点の建物情報を表示することができます。
戻る	1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

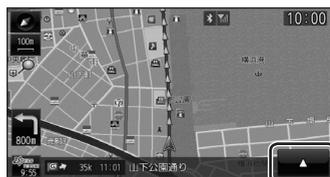
- 目的地 / 登録地を設定する際、 \oplus 地点に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路], [有料道路], [一般道路] または [トンネル] を選択する画面を表示します。)



サブメニューを表示する

ここでは、現在地画面 (P27) から表示するサブメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で \blacktriangle にタッチする



サブメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではサブメニューを表示するためのタッチスイッチを \blacktriangle と記載しています。
- \blacktriangle が表示されている画面であれば、タッチすることでその機能ごとのサブメニューを表示することができます。

地図画面を選択する

地図の種類や基準向きを切り換えることができます。

1 “方位アイコン” にタッチする

方位アイコン



2 “種類” または “基準向き” のいずれかにタッチする



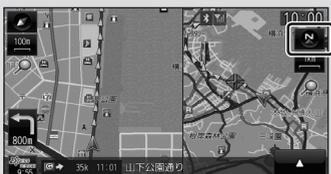
基準向き



地図の種類または基準向きが切り換わります。

アドバイス

- 地図の種類と基準向きは別々に選択することができます。
- スタンダード2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の方位アイコンにタッチします。



但し、右画面に3Dビューマップは表示できません。

地図を操作する

スケールの切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

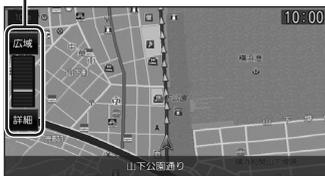
スケールの切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 “スケールアイコン” にタッチする スケールアイコン



スケール変更バー



スケール変更バーを表示します。

2 [詳細] にタッチする

タッチするたびに詳細に表示します。

3 [広域] にタッチする

タッチするたびに広域に表示します。

アドバイス

- [詳細] または [広域] を押し続けることで連続的にスケールを切り換えることができます。

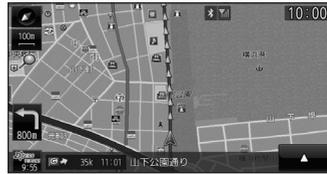
地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。
- スタANDARD以外の地図をスクロールすると画面はスタンダードになります。

1 見たい場所にタッチする



✦ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- [戻る] にタッチすると現在地画面 (P27) に戻ることができます。
- 押し続けることで連続的にスクロールすることができます。
- [地点メニュー] にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。

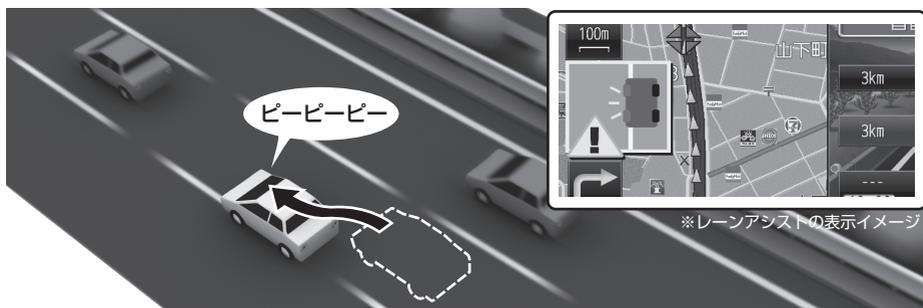
レーンアシストを使う

高速路図 (P36) が表示可能な高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、またははみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。



警告

レーンアシスト機能は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
本機能がない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。



お知らせ

- 本機とリアカメラが接続でき、リアカメラの映像を表示できた場合でも三菱電機ホームページに記載されていない指定外のカメラについてはレーンアシスト非対応となります。
- 意図した車線変更を行った場合でも検知することがあります。

アドバイス

- 警告は、ブザー音のみまたはブザー音と表示を選ぶことができます。
→ 「レーンアシストの設定」 (P96)

ご使用になるには

レーンアシスト機能をご使用になるには、別売のリアカメラの接続および以下の操作が必要です。

1 「リアカメラの接続設定」を行う

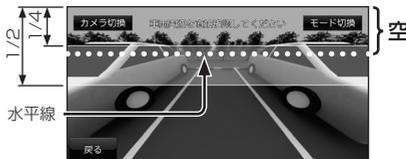
「リアカメラの接続設定」が [接続あり] になっている必要があります。

詳しくは取付要領書をご覧ください。

※ 三菱電機製リアカメラ (BC-20M) を接続していた場合は、本操作の必要はありません。

2 別売リアカメラの取付角度を調整する

映像 (画面) の中で $1/4 \sim 1/2$ の範囲内に空 (水平線) が収まるようリアカメラをやや下向きに調整し取り付けてください。



3 「レーンアシストの設定」を行う

「取付カメラ設定」の完了および「レーンアシスト」で [使用する] にしておく必要があります。

詳しくは取付要領書をご覧ください。

ご利用上の条件

以下で示す状況下では、正しく動作しない場合や再設定が必要な場合があります。

注意

- リアカメラのレンズを汚したり、傷つけたりしないでください。また、水滴や結露がないことをご使用前に確認してください。
- リアカメラは取り付けを変更したり、取り外ししたりしないでください。リアカメラの取り付けを変更した場合は、設定値を再設定する必要があります。
- リアカメラに強い衝撃や力を加えないでください。また、分解しないでください。

■ 車両・走行状態の影響

カメラ高さが変わった

以下の場合には、再設定が必要です。

- サイズの異なるタイヤに交換またはサスペンションを交換したことにより車高が著しく変わった。
- 新しいタイヤに変更した直後。

車両が想定外の姿勢になった

以下の場合には、正しく動作しない場合があります。

- 重い荷物を積載している。
- タイヤの空気圧が調整不良になっている。
- キャンピングカーなどを牽引(けんいん)している。
- 車線規制や工事などによる仮設の車線を走行している。
- 合流や分岐した道路を走行している。
- 急カーブを走行している。
- 急な車線変更を行った。
- 状態が悪い、継ぎ目があるなどの道路を走行して車両に大きな上下運動が発生した。
- 著しく速い速度で走行している。
- うねりのある道路や状態の悪い道路を走行している。
- 凸凹がある路面の走行やジグザグ走行をしている。
- リアカメラの光軸がずれている。
- マフラーからの煙がリアカメラに入っている。
- 道路上の白(黄)線が砂ぼこりなどで見えにくくなっている。または、見えない。
- 雨、雪、霧などで道路上の白(黄)線が見えない。または、見えにくくなっている。

設定した条件に達していない

以下の場合には、レーンアシスト機能が自動的にOFFになります。

- 高速道路などで走行車線や追い越し車線以外を走行している。
- 車両が停止している。または、ゆっくり走行している。

■ リアカメラの問題

以下の場合には、レンズ面の洗浄を行ってください。

- リアカメラのレンズ面が汚れている。

■ 明るさ、外乱光や影の影響

以下の場合には、正しく動作しない場合があります。

- 街灯などの光源がなく暗い道路を夜間走行している。
- 車両後方が暗い。(ランプ不灯、バルブ切れ、汚れ、光学式ナンバーなど)
- 夜間に後続車が接近している。または、後続車のヘッドライトが上向きになっている。
- 降雨時や雨上がりなどで、路面が濡れて光っている。または、水溜まりがある。
- 朝日や夕日など太陽の光がリアカメラに入る。
- トンネルの出入り口などを走行していて明るさが急激に変化した。
- 照り返しなどにより明るくなった道路を走行している。

■ 道路上の白(黄)線や路面の状態(カスレ、汚れ、隠れ)の影響

以下の場合には、正しく動作しない場合があります。

- 路側物に道路上の白(黄)線と誤認識するような構造物や模様(ガードレール、緑石、反射ボールなど)がある。
- 帯状に雪が残った雪道を走行している。
- 道路上の白(黄)線と平行に近い影がある。
- 道路上の白(黄)線が影の中にある。
- 道路の修復などのアスファルト修復跡やペイント跡が残っている。
- 道路上の白(黄)線が検札所や料金所手前などで途切れている。
- 道路の白(黄)線が片側のみある。
- 極端に狭いまたは広い車線を走行している。
- 道路上の白(黄)線が存在しない。
- 道路上の白(黄)線周辺に積雪や融雪剤がある。
- 道路上の白(黄)線を隠す障害物がある。
- 路面の色や明るさが一様でない。
- カスレや汚れにより、はっきり見えない。
- コンクリート路のような明るい路面で、道路上の白(黄)線と路面のコントラスト差が少ない。
- キャッツアイやチャンターバー(道路上の白(黄)線に取り付けられた反射板)がある。
- 路面補修痕、タイヤスリップ痕、道路のジョイントなどがある。
- 道路上の白(黄)線の寸法や形状が規格外るとき。
- 自車や他の車両、ガードレール、道路構造物(街路樹など)の影付近や影の中に白(黄)線がある。
- 注意喚起のため以下のようなレーンになっているとき。



表示内容について

レーンアシストの表示は、状況に応じて変わります。各状況に応じた状態をあらかじめ理解した上でご使用ください。



レーンアシストの表示

表示内容	状態 / 内容
車の表示は黒 	レーンアシスト機能 OFF ・「レーンアシストの設定」(P96)の「検知開始速度」で設定した速度未満で走行している。
車の表示は白 	レーンキープ中
	レーン左側にはみ出した、または近づいた
	レーン右側にはみ出した、または近づいた
車の上に「？」表示 	レーンアシスト機能不能 ・設定変更後などによる学習中になっている。 ・路面の積雪、リアカメラレンズの汚れ、逆光などが原因で道路上の白(黄)線が見えない状態になっている。

お知らせ

- ・高速略図(P36)が表示可能な高速道路を走行していない場合は表示されません。
- ・[レーンアシストの設定]の「警報の種類」が[ブザーのみ]になっていた場合は、表示は行いません。
→「レーンアシストの設定」(P96)

レーンアシスト機能を一時停止する

レーンアシスト機能動作中に一時停止することができます。

1 レーンアシストスイッチにタッチする



レーンアシストスイッチ



レーンアシストスイッチの表示が「動作中」から「停止中」に変わり、一時停止状態となります。再度、動作させるときはもう一度レーンアシストスイッチにタッチします。

ブザー音について

- ・ブザー音はレーンからはみ出し量に応じて3段階で変化します。(はみ出し量が大きいほどブザー音は大きくなります。)
- ・ブザー音は、レーン右側にはみ出したときは、右前のスピーカーが鳴り、レーン左側にはみ出したときは左前のスピーカーが鳴ります。
- ・ブザー音はレーンからはみ出している間、最長で約10秒間鳴り続けます。10秒を過ぎてもレーンからはみ出している場合は、ブザー音が鳴り止みますのでご注意ください。

アドバイス

- ・レーンアシスト機能のブザー音の音量は「システム音の設定」(P96)に連動しており、変更することができます。但し、「システム音の設定」(P96)で「消」にしてもレーンアシストのブザー音は消えません。

高速道路情報について

高速道路を走行すると高速路図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認することができます。

アドバイス

本書で使用している高速道路の略語は以下の通りです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について



① 施設情報

入口情報や到着予想時刻、施設の情報を表示します。

SA,PA の場合

この場所にある施設のマークを表示します。

IC の場合

施設情報は表示しません。

JCT の場合

この場所より分岐している路線を選択することができます。

② スマート IC アイコン

スマート IC がある施設に表示します。

③ 到着予想時刻

施設に到着する予想時刻を表示します。

④ 路線名

現在、高速路図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

⑤ 施設名と残距離表示

SA,PA,IC,JCT の名称と自車位置からの距離を表示します。

降りることのできない IC は色が変わります。

1km 未満は「――」と表示し、最大 999km まで表示します。

⑥ 自車表示

現在地から最も近い施設がリストに表示しているときに表示します。

⑦ VICS 記号表示

IC,JCT などの施設を拠点とした規制は右側に表示します。

各区間中にある規制は左側に表示します。

→「VICS 記号について」(P47)

目的地の設定

自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 (P42) を目的地に設定します。

1 **NAVI** キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 **自宅** にタッチする



探索条件設定画面 (P39) を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。→「自宅を登録する」(P42)

3 **案内開始** にタッチする



自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

探した場所を目的地に設定する

探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



3 探した場所が表示されたら「地点メニュー」にタッチする



アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 「ここへ行く」にタッチする



5 「案内開始」にタッチする



探した場所を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。



① ルートの情報

現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② 利用するインターチェンジ

最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

④ 探索条件表示

現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑤ 案内開始

現在探索されているルートの案内を開始します。

⑥ 探索条件

目的地までのルートの探索条件を変更することができます。

→ [探索条件の種類について] (P41)

⑦ 経由地

経由地の追加や変更が行えます。

⑧ 5ルート

異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。

⑨ 渋滞予測経路 *1 / 通常経路

[渋滞予測経路]にタッチすると、過去の統計データに基づいて予測した渋滞情報(渋滞や混雑しやすいポイント、時間帯など)を考慮したルートを探します。
[通常経路]にタッチすると、通常のルートを探します。

⑩ 省エネ情報

推奨で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができていないかの度合いを確認することができます。

度合い	葉っぱの状態
とても節約できる	
節約できる	
少々節約できる	

お知らせ

- [5ルート] → [省エネ] を選んだときに表示します。
- 標準的なガソリン車を想定しています。
- ルートによっては、推奨とほぼ同じ消費燃費となる場合があります。
- 実際の消費燃費は交通状況など様々な条件で変動することがあります。そのため、省エネ情報と異なる結果となる場合があります。

*1 渋滞予測経路の元となる道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センター (JARTIC) から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

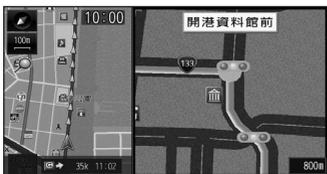
アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タッチしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタッチする



交差点案内アイコン

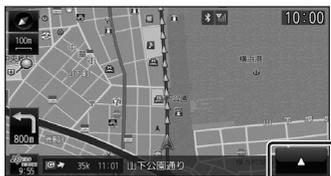


次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

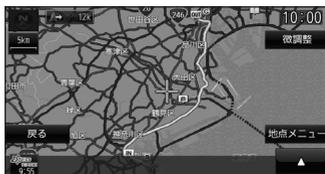
全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できるスケールの地図を表示します。

1 現在地画面で にタッチする



2 全ルート にタッチする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

	出発地を表します。
	目的地を表します。
	設定された経由地を表します。
	高速道路の入口を表します。
	高速道路の出口を表します。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定することができます。また、ルートの探索方法を変更することができます。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを編集するにタッチする



探索条件設定画面 (P39) を表示します。

■ 探索条件の種類について

[探索条件] にタッチすると、以下の中から探索条件を選ぶことができます。

推奨	目的地（経由地）まで一般と思われるルートを探します。
省エネ	目的地（経由地）までなるべく燃費節約となるルートを探します。
有料優先	目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探します。
一般優先	目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探します。
距離優先	目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探します。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを消去するにタッチする

3 消去する にタッチする

ルートの消去が完了し、現在地画面 (P27) を表示します。

登録地の設定

登録地を設定する

出かけた場所などを登録地に設定しておくと、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大 99 件まで登録できます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときは、「自宅を目的地に設定する」(P37) をご覧ください。
- 自宅は 1 件のみ登録できます。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 自宅 にタッチする

3 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



アドバイス

- 現在地が自宅の場合、[地図から探す] にタッチすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



探した場所に  マークが表示された自宅の登録地情報 (P43) を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。「登録地情報を変更する」(P43) の手順 6 以降の操作を行ってください。

5 **終了** にタッチする

自宅の登録が完了します。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所 (自転車位置) を登録します。

1 現在地画面で **現在地** キーを押し続ける

現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
- 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
→ 「登録地情報を変更する」(P43)

登録地を変更する

自宅や登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。

登録地情報を変更する

自宅や登録地の各情報を変更することができます。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 登録地 / 履歴 にタッチする



自宅を変更したい場合でも、[登録地 / 履歴] にタッチします。

3 ↓, ↑ で変更したい“登録地”にカーソルを合わせる



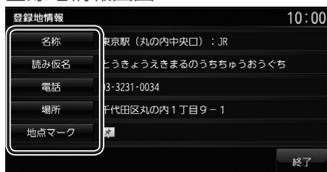
カーソル (オレンジ)

4 ▲ にタッチする

5 詳細情報 にタッチする

6 変更したい“情報”にタッチし、変更する

登録地情報画面



登録地情報画面について

変更できる登録地情報について説明します。

名称	地図画面で表示される登録地の地点マークの名称を変更することができます。
読み仮名	登録地名の読み仮名を変更することができます。
電話	登録地に電話番号を登録しておくことができます。
場所	自宅や登録地の場所を変更することができます。
地点マーク	地図画面に表示される登録地のマークを変更することができます。

VICS 機能

VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用することができます。

VICS のメディアと特徴

- VICS のメディアには、FM 多重放送、光ビーコン、電波ビーコン、DSRC、オンライン受信があります。

■ FM 多重放送

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

■ 光ビーコン

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(光ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光 / 電波ビーコン受信機が必要です。

■ 電波ビーコン

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。(電波ビーコン設置場所通過時)

※ 別売の光 / 電波ビーコン受信機が必要です。

■ DSRC

専用狭域(きょういき)通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能のためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。DSRC 機能については、「DSRC 機能」(P49)をご覧ください。

※ 別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器が必要です。

■ オンライン受信

携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。

オンライン受信は、以下の2種類があります。また、あらかじめ登録作業が必要です。

詳しくは「オンラインの情報を受信する」(P48)をご覧ください。

※ Bluetooth 接続ができる DUN プロファイルに対応した携帯電話が必要です。

オンデマンド VICS

携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などの VICS 情報を取得することができます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ オンデマンド VICS の情報は、インクリメント P 株式会社が運営する「インクリメント P 交通情報サービス」からの提供です。

※ 本サービスで使用する VICS 交通情報は財団法人日本道路交通情報センターから提供されるデータを利用して作成しています。また、道路交通情報データの作成には財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。

※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

スマートループ渋滞情報[®]

本製品のスマートループ渋滞情報[®]は、パイオニア カロツツェリア カーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS 渋滞情報と合わせて全国約 70 万 km におよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※ 本製品はパイオニア(株)が運営・管理するスマートループ渋滞情報[®]を使用しています。

スマートループ渋滞情報[®]はパイオニア(株)の登録商標です。

※ 会員登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



① 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認することができます。

② (VICS スイッチ)

VICS 情報の提供時刻および提供メディア名を表示します。

(受信した時刻ではありません。)

タッチで VICS メニューを表示します。

→「VICS メニューについて」(P46)

③ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認することができます。

④ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認することができます。

アドバイス

- 本機の VICS 機能では、VICS 記号を見やすく強調するための機能が用意されています。一部の地図色を変更し、VICS 記号が強調されます。
- 工場出荷時は [VICS の設定] の「VICS 受信時地図色」が [変えない] に設定されていますので、VICS 記号が見にくい場合は [変える] に設定してください。→「NAVI の設定」(P95)

■ VICS スイッチについて

受信した最新の提供メディア名が表示されます。

	FM 多重放送
	光ビーコン
	電波ビーコン
	DSRC
	オンライン受信

■ VICS メニューについて



① 提供時刻

各メディアの VICS 情報提供時刻を表示します。

② オンラインで受信する

携帯電話の通信機能を利用して、オンデマンド VICS 情報およびスマートループ渋滞情報[®]を取得することができます。

→ 「オンラインの情報を受信する」(P48)

③ 駐車場情報

現在地周辺の駐車場情報を確認することができます。

④ 規制情報

現在地周辺の規制情報を確認することができます。

⑤ FM 多重情報

文字または図形による VICS 情報を確認することができます。

⑥ ビーコン情報

DSRC の安全運転支援情報 (P49)、光ビーコン、電波ビーコンから取得した文字または図形による VICS 情報を確認することができます。

⑦ 緊急注意情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認することができます。

⑧ VICS 渋滞情報表示 / 予測渋滞情報表示

地図上に VICS 渋滞情報または予測渋滞情報を表示します。

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

-  空車 (青色)  満車 (赤色)
 混雑 (オレンジ色)  不明 (黒色)
 閉鎖

渋滞情報

黒色 (実線)	通行止め
赤色 (実線)	一般道路渋滞
赤色 (点線)	高速道路渋滞
橙色 (実線)	一般道路混雑
橙色 (点線)	高速道路混雑
紫色 (実線)	一般道路渋滞 (予測)
紫色 (点線)	高速道路渋滞 (予測)
黄色 (実線)	一般道路混雑 (予測)
黄色 (点線)	高速道路混雑 (予測)

アドバイス

- ・ 通行止めは高速略図 (P36) で表示します。
- ・ スマートループ渋滞情報[®]では、渋滞線の両側に縁取りがあります。

規制情報

-  事故  故障車
 路上障害  工事
 作業  通行止め
 進入禁止  速度規制 (例 60km)
 徐行  車線規制
 片側交互通行  対面通行
 チェーン規制  入口閉鎖
 入口制限  冬期通行止め
 その他の規制情報

VICS センターへのお問い合わせ

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし「三菱電機カーインフォメーションセンター」までご連絡ください。

- ・ VICS 車載器の調子や使用方法
- ・ VICS 車載器の受信可否に関して
- ・ 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- ・ VICS 情報の受信エリアについて
- ・ VICS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICS センター」までご連絡ください。

- ・ 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- ・ 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- ・ VICS の概念
- ・ サービス提供エリアに関して

■ (財)VICS センター

お問い合わせ窓口: サービスサポートセンター

受付番号	0570-00-8831 ※ 全国から市内通話料金でご利用になれます ※ PHS、IP 電話などからはご利用できません
電話受付時間	9:30 ~ 17:45 (土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)
受付 FAX 番号	03-3562-1719
FAX 受付時間	24 時間
ホームページアドレス	http://www.vics.or.jp/ VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、別紙に記載の「三菱電機カーインフォメーションセンター」にご連絡いただくことをお勧めします。

オンラインの情報を受信する

携帯電話の通信機能を利用して、オンデマンド VICS 情報およびスマートループ渋滞情報[®]を受信します。

お知らせ

- あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。→「Bluetooth の設定」(P96)
- 会員登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- オンラインの情報を受信するには登録が必要となります。別紙「OpenInfo サービス ユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。さらに、[VICS の設定]の「走行情報 (オンライン)」を [送信する] にしておく必要があります。未登録の場合や [送信しない] に設定されていると、オンデマンド VICS 情報 (P44) のみを受信します。→「NAVI の設定」(P95)

会員登録	[VICS の設定] →「走行情報 (オンライン)」	オンデマンド VICS	スマートループ 渋滞情報 [®]
未登録	送信しない	○	×
	送信する	○	×
登録済み	送信しない	○	×
	送信する	○	○

1 現在地画面で  にタッチする

2 **オンラインで受信する** に
タッチする

3 **はい** にタッチする

渋滞情報の取得を開始します。



アドバイス

- 「走行情報 (オンライン)」の送信では、より充実した道路交通情報の提供に役立てるために、お客さまの走行情報などをサービス業者に提供します。
- オンライン受信の受信方法は、[VICS の設定]の「オンライン受信」で自動または手動を選ぶことができます。
→「NAVI の設定」(P95)

DSRC 機能

DSRC サービスとは

別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器を本機に接続すると、さまざまな機能がご利用になれます。

DSRC とは

Dedicated Short Range Communication の略で、専用狭域（きょういき）通信による情報提供や料金決済などのサービスのことで、今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売の三菱電機製 DSRC 車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製 DSRC 車載器と ETC カードおよび接続ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETC カード未挿入や DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、DSRC 車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- DSRC 車載器本体の詳細については、DSRC 車載器の取扱説明書をご覧ください。

DSRC サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- DSRC サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス（道の駅における情報接続、SA・PA における情報接続など）には対応していません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。

受信した音声情報を、自動で読み上げないように設定する場合は [VICS の設定] で「受信情報読み上げ」を [手動] に設定します。

→ [VICS の設定] (P95)

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立ちます。

走行情報を提供しない場合は、[VICS の設定] で「走行情報 (DSRC)」を [送信しない] に設定します。

→ [VICS の設定] (P95)

■ 安全運転支援情報

「前方の障害物情報」や「合流支援情報」、「事故多発地点情報」がリアルタイムに提供されます。

注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

AV

オーディオ機能に関する操作の説明を行います。

オーディオ機能について

基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

オーディオを ON/OFF する

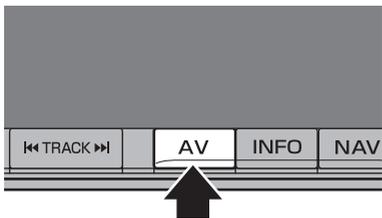
オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

アドバイス

- [AV] キーを押し続けることでも、オーディオ機能の ON/OFF を行うことができます。

■ オーディオ機能が ON のとき

1 [AV] キーを押す



AV メニューを表示します。

2 [Audio OFF] にタッチする



オーディオ機能が OFF になります。

■ オーディオ機能が OFF のとき

1 [AV] キーを押す

AV メニューを表示します。

2 [Audio ON] にタッチする



オーディオ機能が ON になります。
直前に使用していたオーディオソースの画面に戻ります。

ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

- ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスク挿入口に手や指、異物を入れてください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上に物（ジュースなど）を置かないでください。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

■ ディスクを挿入する

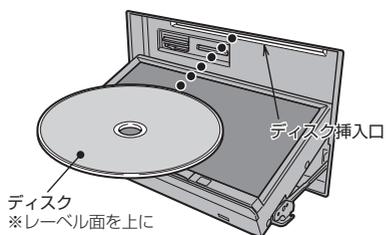
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

4 ▲ キーを押す

▼
パネルが閉まり再生を開始します。

■ ディスクを取り出す

1 ▲ キーを押す

2 DISC Eject にタッチする



▼
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 ▲ キーを押し、パネルを閉める

▼
[DISC] を選択する前のオーディオソース画面を表示します。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 電源を入れる際に ▲ キーを押し続ける

▼
本機からディスクが強制的に排出されます。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面に触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	備考
DVD ビデオ 	• リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」 • NTSC 方式で記録されたもの
DVD ± R/RW	• CPRM/2 層ディスクを含む • DVD VIDEO/DVD-VR フォーマット規格で記録されたディスク • MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク
CD-DA 	—
CD-TEXT 	—
CD ± R/RW 	• MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク

注意

- 8cm ディスクは使用できません。
- DTS CD(5.1ch Music Disc) は、録音 / 再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽 CD をお楽しみいただけますが、CD の規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に  の入ったものなどの JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD 規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。

音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について

本機では CD-ROM や CD-R/RW、DVD ± R/RW、USB デバイス、SD カード*¹ に記録された MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルを再生することができます。

※ 1 MUSIC スロットに挿入した SD カード

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちの CD-R/RW ドライブや DVD ± R/RW ドライブ、ライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

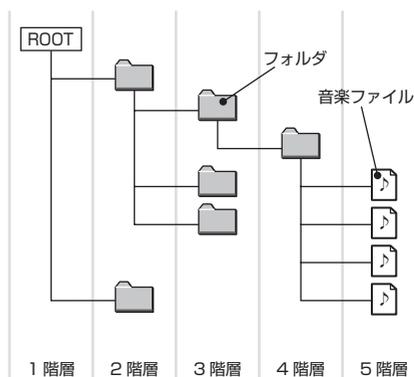
- 音楽 CD から書き込んだ (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- MP3/WMA/AAC 形式以外のファイルに拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」を付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

アドバイス

- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」を付けてからディスクに書き込んでください。
- 2GB を超えるサイズのファイルは再生することができません。
- MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルが混在したディスクも再生することができます。

フォルダの構成について

フォルダは 8 階層まで認識することができます。ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理することができます。



お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

表示内容について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、プリセット CH 番号、受信中の周波数を表示します。

② FM1, FM2, AM

FM 放送、AM 放送を切り換えるときに使用します。

それぞれ各 6 局までお好みの放送局を登録することができます。

③ プリセットスイッチ

お好みの放送局を登録することができます。希望のプリセット CH 番号のスイッチを「ピッ!」と鳴るまでタッチし続けると、現在受信中の放送局を登録することができます。

④ ▼ TUNE ▲

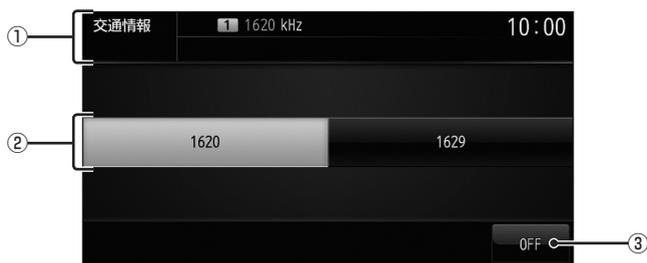
周波数を変更するときに使用します。

⑤ ▲

タッチすると、サブメニューを表示します。[スキャン]、[オートセレクト]が選べます。

交通情報を聴く

表示内容について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、受信中の周波数を表示します。

② 1620, 1629

交通情報の周波数、1620kHz もしくは 1629kHz を選ぶときにタッチします。

③ OFF

タッチすると、交通情報を終了し、交通情報を聴く前のオーディオソースの再生を再開します。

DISC

音楽 CD を聴く

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P51)
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽 CD 挿入後、[開始する] にタッチすることで MusicFolder への録音を開始します。

表示内容について

再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

④ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑦ TRACKLIST

トラックリストを表示します。

⑧ タイトル取得

手でタイトル情報を取得します。

⑨ 再生時間

⑩ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

■ リストについて



① 録音状態アイコン

Ⓡ (青): 未録音

Ⓡ (赤): 録音中

※ 録音済は表示されません。

② トラック番号

③ トラック名

トラック名を表示します。

トラック名の情報が空白だった場合は、「NO TITLE」と表示します。

④ 戻る

音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

⑤ カーソルスイッチ

トラックを選択できます。

⑥ ▲

サブメニューを表示します。

[再生方法]、[録音設定]、[録音開始]などが選べます。

■ サブメニューについて

音楽 CD の再生情報画面で ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。再生方法についての変更や録音の設定、録音の開始 / 停止が行えます。



再生方法	リピート再生やランダム再生、スキップ再生などの再生モードを変更することができます。
録音設定	録音方法の設定が行えます。
録音開始 (録音停止)	録音の開始や停止が行えます。 →「録音を開始 / 停止する」(P67)

タイトル情報について

音楽 CD を本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報は、地図カードに記録されている Gracenote データベースを利用してタイトル情報を取得します。
- CD-TEXT の場合は CD 内から TEXT 情報を取得して表示します。TEXT 情報が無い場合は、地図カード内の Gracenote データベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「NO TITLE」や「NO NAME」などと表示され、NoTitle リストに登録されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽 CD のタイトル情報は地図カードに記録された Gracenote データベースから取得することはできません。また、それ以前の音楽 CD でも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示場合があります。
- CD-TEXT は日本語と英語以外の言語には対応していません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 通信でタイトル情報の取得を行う場合は携帯電話の表示を待ち受け画面にしてください。

■ 取得できる情報について

- アルバム名
- アルバム名の読み
- アルバムのアーティスト名
- アルバムのアーティスト名の読み
- トラック名
- トラック名の読み
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote[®] 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote[®] 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。



著作権、使用許諾について詳しくは「Gracenote サービスについて」(P112) をご覧ください。

ディスクの音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を聴く

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P51)

表示内容について

再生情報画面について



- ① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。
- ② **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。
- ③ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。
- ④ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1
- ⑤ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。
タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑥ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。
- ⑦ **▼ FOLDER ▲**
フォルダを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑧ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
- ⑨ **リスト表示**
フォルダリストを表示します。
→「リストについて」(P60)
- ⑩ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。
- ⑪ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。
- ⑫ **再生時間**
- ⑬ **▲**
サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ カーソルスイッチ

フォルダやファイルを選択できます。

⑦ ▲

サブメニューを表示します。

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

⑧ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

■ サブメニューについて

音楽ファイルのリスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。このサブメニューでは、再生モードの変更や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

DVD ビデオを見る

注意

- DVD ビデオの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。(但し、後席モニターなどのAUX出力機器は除く)
- DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- DVD ビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVD ビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、 マークを表示します。
- 本機は「dts」(P106)には対応しておりませんので、「dts」を選んでいた場合は音声が出力されません。必ず「dts」以外の音声を選んでください。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアから DVD ビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P51)

DVD ビデオの操作画面を表示する

DVD ビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタッチする



操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書では DVD ビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VR モードで記録されたディスク

■ 再生中の操作画面

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

③ 切換

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択や画面表示の切り換え、アングルの切り換えが行えます。

④ 数字入力

DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

⑤ メニュー

記録されているタイトルメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。

⑥ メニュー操作

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ ▼TITLE▲

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わりません。(PG4)

⑪ スロー

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ リターン

あらかじめ DVD ビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生)



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

③ 切換

音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択や画面表示の切り換えが行えます。

④ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。

⑤ 音声多重切換

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、タッチするたびに [主音声] → [副音声] → [主+副] → [主音声]... のように音声を切り換えることができます。

⑥ **▼ TITLE ▲**

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ **再生**

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ **一時停止**

映像が表示された状態で停止します。

⑨ **停止**

再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。(P64)

⑩ **スロー**

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]...
と再生速度が変わります。(スロー再生)

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① 状態アイコン

- ▶ (点滅)：停止中 (続き再生可能)
- ：停止中 (続き再生不可)

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。
→ [DVD 初期設定] (P95)

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。

④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。

⑤ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき (状態アイコン ▶ が点滅状態) は続き再生 (レジューム再生) ができます。再度 [停止] にタッチすると状態アイコンが ■ になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン ▶ が点滅状態であれば、続き再生ができます。状態アイコンが ■ であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

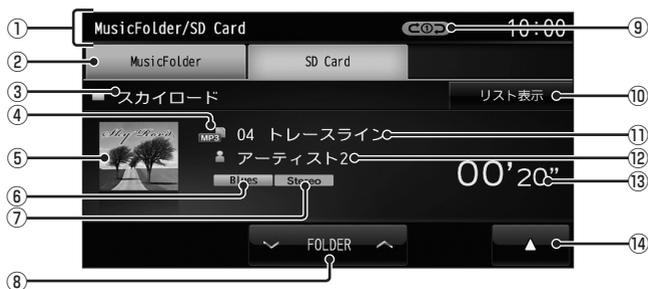
SD/MusicFolder

SD カードの曲を聴く

MUSIC スロットに挿入された、音楽用 SD カード (音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が記録された SD カード) を本機で再生することができます。

表示内容について

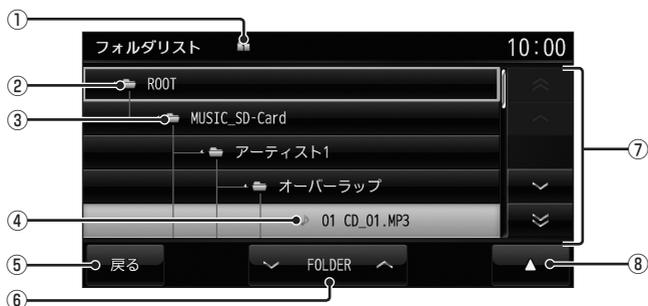
■ 再生情報画面について



- ① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。
- ② **MusicFolder**
再生情報画面を MusicFolder に切り換え、MusicFolder の再生を開始します。
→ 「MusicFolder を聴く」 (P68)
- ③ **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。
- ④ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。
- ⑤ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1
- ⑥ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑦ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。
- ⑧ **▼ FOLDER ▲**
フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑨ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
- ⑩ **リスト表示**
フォルダリストを表示します。
- ⑪ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。
- ⑫ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。
- ⑬ **再生時間**
- ⑭ **▲**
サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

⑦ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑧ ▲

サブメニューを表示します。

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

■ サブメニューについて

音楽ファイルのリスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。このサブメニューでは、再生モードの変更や各階層への移動などが行えます。

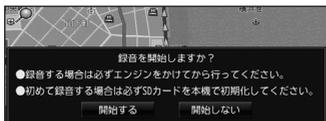


再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

MusicFolder に録音する

MusicFolder への録音について

本機は、挿入した音楽 CD の曲を等倍～約 4 倍速で MUSIC スロットに挿入された SD カード (音楽用 SD カード) に録音することができます。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽 CD を挿入後、[開始する] にタッチすることで音楽 CD 内の曲をすべて MusicFolder に録音します。

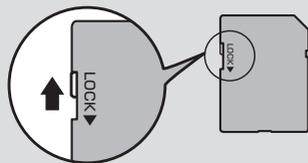


注意

- 録音したものを個人で楽しむなど以外の目的で使用することは、著作権法上禁止されています。
- MusicFolder に録音できるのは音楽 CD (CD-DA) からのみです。MP3/WMA/AAC の音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SD カードや USB メモリーなど) からの録音はできません。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。

お知らせ

- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。SD カードによっては、正常に録音できない場合があります。
- 読み書き可能な SD カードを本機の本機 MUSIC スロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)



お知らせ

- 音楽用 SD カードは、あらかじめ「メモリ初期化」(P96) の [音楽用 SD カードの初期化] で SD-Audio フォーマットに初期化しておく必要があります。
- 1 枚の SD カードに最大 CD99 枚まで録音することができます。
- 録音ビットレートは 128kbps です。
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- MusicFolder に録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USB メモリー、SD カードなど) に複製 / 移動することはできません。
- すでに録音した曲は同じ音楽 CD から重複して録音することはできません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 本機の処理負荷の状態や音楽 CD 側の状態により、等倍速より遅くなる場合があります。
- 音飛びなどのエラーがあった場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音で録音されます。

録音を開始 / 停止する

ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。→ [音楽 CD を聴く] (P56)

アドバイス

- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1 曲目以外を録音することはできません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽 CD の再生情報画面で

▲ → **録音開始** にタッチする

▼
選んだ曲の録音を開始し、追いかけて再生を行います。

3 録音を停止するとき

▲ → **録音停止** にタッチする

▼
録音を停止します。

MusicFolder を聴く

MusicFolder とは、MUSIC スロットに挿入された SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生する機能です。

アドバイス

- 工場出荷時の状態であれば、音楽 CD を本機に挿入後、[開始する] にタッチすることで MusicFolder への録音を開始します。
- 録音方法を変更することができます。
→ 「CD 録音設定」(P95)

お知らせ

- SCMS(孫コピー防止技術)の動きにより、音楽 CD をデジタル録音したディスクから MusicFolder へ録音することはできません。
- 本機能で録音した曲を別のメディア(CD-R,SD カード,USB メモリー,ハードディスクなど)に複製・移動することはできません。
- 本製品を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。
→ 「メモリ初期化」(P96)
- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応)です。
- 読み書き可能な SD カードを本機の MUSIC スロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)
- 本書では、MUSIC スロットに挿入された SD カードのことを“音楽用 SD カード”と説明しています。

注意

- 音楽用 SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

■ SD-Audio について

本機の MusicFolder は SD-Audio 規格に対応しています。

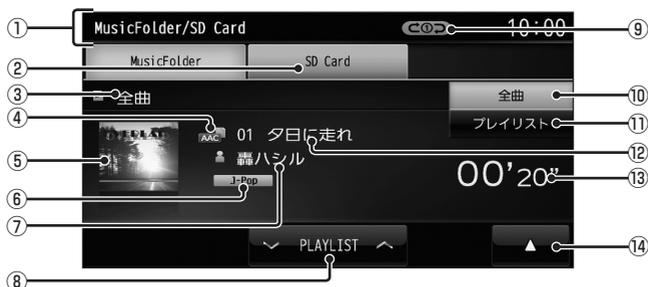
ご家庭のパソコンなどで SD-Audio 規格で録音した音楽ファイルの SD カードを本機の MUSIC スロットに挿入することで、MusicFolder として再生することができます。

他の機器で録音したプレイリストの情報について

他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようになります。

- プレイリスト名 / トラック名 / アルバム名 / アーティスト名 / ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の 31 文字以降はカットされます。
- 半角文字(カタカナ、英数字)は全角文字になります。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② SD Card

再生情報画面を SD Card に切り換え、SD カードの再生を開始します。

→「SD カードの曲を聴く」(P65)

③ 全曲 / プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

④ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑤ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1}

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑦ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑧ ▼ PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。) タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑩ 全曲

全曲のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P71)

⑪ プレイリスト

プレイリスト選択画面を表示します。
→「プレイリスト選択画面」(P70)

⑫ トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。

⑬ 再生時間

⑭ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更や NoTitle リストの表示、MusicFolder の全消去が行えます。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面



① プレイリスト名

タッチすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。
→ 「トラックリストについて」(P71)

② 戻る

MusicFolder の再生情報画面 (P69) に戻ります。

③ ▼ PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑤ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更やプレイリストのタイトル変更、再生順序の変更、消去が行えます。

■ トラックリストについて



① 全曲 / プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。
タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。
タッチすると、選択した曲の再生を開始します。

③ 戻る

全曲再生の場合は、再生情報画面 (P69) を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 (P70) を表示します。

④ ▼ PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑥ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更やトラックの情報編集、再生順序の変更、消去が行えます。

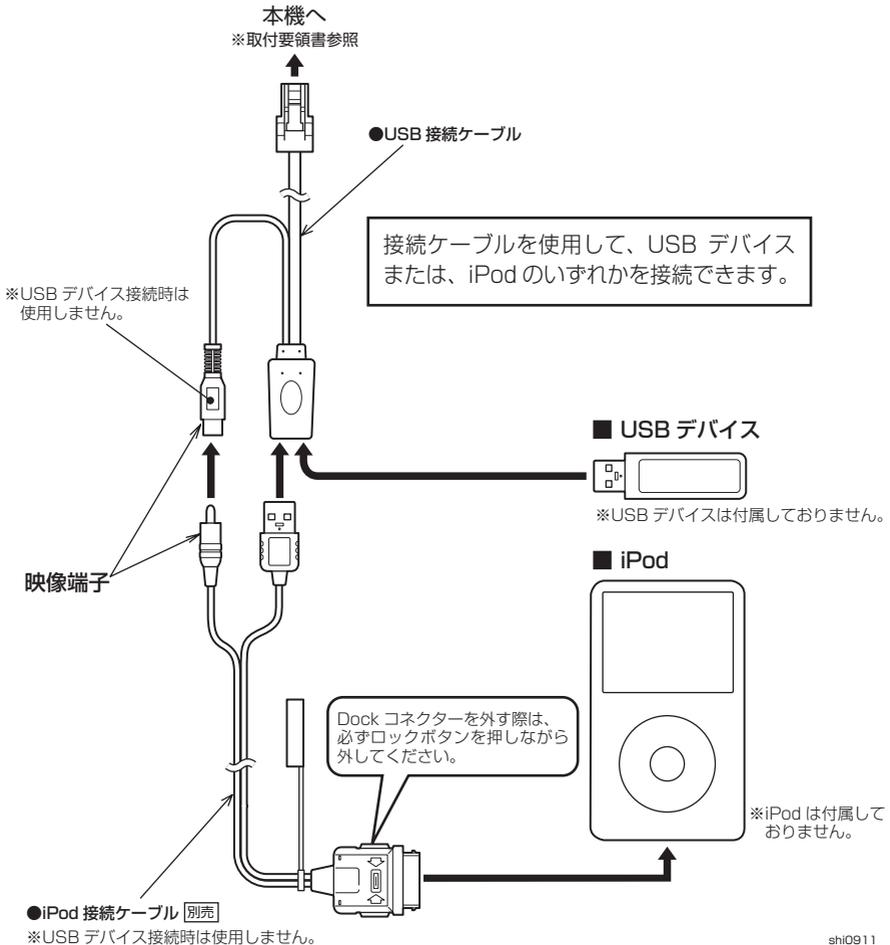
⑦ 再生画面

MusicFolder の再生情報画面 (P69) に戻ります。

iPod/USB

接続する

接続ケーブルと iPod および USB デバイスの接続方法を説明します。



注意

- iPod を接続する場合は、当社指定の iPod 接続ケーブルをお買い求めください。他社製 (Apple 純正を含む) を接続した場合は、動作保証致しかねますのでご了承ください。
- Dock コネクターや USB のコネクター方向に注意してください。コネクター方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクターや iPod 本体、USB デバイスの破損の原因となります。
- iPod/iPhone 本体を車内に放置しないでください。

iPod を再生する

USB 接続ケーブルおよび別売の iPod 接続ケーブル、市販されている iPod を本機に接続することで、iPod の映像や音声を本機に入力し、再生することができます。

お知らせ

- 最新のソフトウェアバージョンにした iPod/iPhone を使用してください。
- iPod/iPhone を本機に接続した状態で操作してください。
- iPod/iPhone を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod/iPhone と iPod 接続ケーブルは接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。
- iPod が正しく動作しないときは、iPod を本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 本機と iPod を接続して使用しているときに iPod のデータが消失しても、その補償は致しかねます。

表示内容について

■ ミュージック再生情報画面について



- ① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や状態アイコン、再生モードを表示します。
 - ② **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。
 - ③ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。
 - ④ **アートワーク**
iPod 内にアートワーク情報があれば、画像を表示します。
 - ⑤ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
 - ⑥ **iPod メニュー**
ミュージックメニューを表示します。
→「ミュージックメニューについて」(P74)
 - ⑦ **状態アイコン**
 - ⑧ **再生モード表示 (ミュージックのみ)**
現在の再生モードを表示します。
 - ⑨ **▶**
再生を開始します。
 - ⑩ **⏸**
再生を一時停止します。
 - ⑪ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。
 - ⑫ **再生時間 (ミュージックのみ)**
 - ⑬ **▲**
サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。
- ※ **チャプターリスト**
(オーディオブック再生中のみ)
オーディオブックのチャプターリストを表示します。

■ ミュージックメニューについて

ミュージック再生情報画面で [iPod メニュー] にタッチすると表示します。

ミュージックメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。

カテゴリーメニュー



カテゴリーメニュー	各カテゴリーのリストを表示します。
戻る	再生情報画面に戻ります。 → 「ミュージック再生情報画面について」(P73)
ビデオ	ビデオメニューを表示します。 → 「ビデオメニューについて」(P75)
▲	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

■ ビデオ再生情報画面について

ビデオ再生中に画面にタッチすると表示するビデオ再生情報画面について説明します。



iPod メニュー	ビデオメニューを表示します。 → 「ビデオメニューについて」(P75)
▲	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。
チャプターリスト (オーディオブック再生中のみ)	オーディオブックのチャプターリストを表示します。
▶	再生を開始します。
⏸	再生を一時停止します。

■ ビデオメニューについて

ビデオ再生情報画面で [iPod メニュー] にタッチすると表示します。

ビデオメニューからさまざまなカテゴリのリストを表示することができます。

カテゴリメニュー



カテゴリメニュー	各カテゴリのリストを表示します。
戻る	ビデオ再生情報画面に戻ります。 →「ビデオ再生情報画面について」(P74)
ミュージック	ミュージックメニューを表示します。 →「ミュージックメニューについて」(P74)
	サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

USB デバイスの曲を聴く

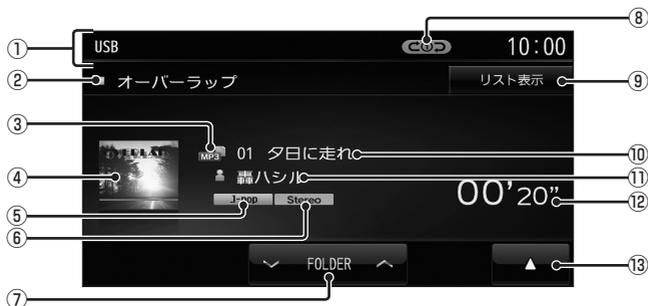
USB 接続ケーブルおよび市販されている USB デバイスを本機に接続することで、USB メモリーなどの USB デバイ스에記録された音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を本機で再生することができます。

注意

- USB デバイスを車内に放置しないでください。
- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。
- USB デバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

表示内容について

再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

③ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1}

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。
タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば表示します。

⑦ **▼ FOLDER ▲**

フォルダを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑧ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

⑨ **リスト表示**

フォルダリストを表示します。
→「リストについて」(P77)

⑩ トラック番号 / 曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑫ 再生時間

⑬ **▲**

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

⑦ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑧ ▲

サブメニューを表示します。
[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

■ サブメニューについて

音楽ファイルのリスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。このサブメニューでは、再生モードの変更や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

地上デジタル TV

テレビ機能について

本機では、内蔵の地上デジタル TV チューナーを使った地上デジタル TV 放送をご覧になることができます。

受信について

走行にとまれない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。(但し、後席モニターなどの AUX 出力機器は除く)
- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV 番組 (有料番組) に対応していません。
- 地上デジタル TV 放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

miniB-CAS カードについて

本機には、miniB-CAS カードを付属しています。付属の miniB-CAS カードは地上デジタル TV 放送を視聴していただくためにお客さまへ貸与された大切なカードです。番組の著作権保護のため、miniB-CAS カードを本機に挿入しないと地上デジタル TV 放送を見ることができません。

お知らせ

- 別紙 miniB-CAS カードの使用許諾契約約款および裏面の注意や警告を必ずお読みください。
- 破損や紛失などの場合はただちに B-CAS (株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ) のカスタマーセンターへご連絡ください。
- お客さまの責任で破損・紛失した場合は、再発行費用が請求されます。

■ miniB-CAS カード取扱上の注意点

- ダッシュボードの上など、高温になるところに放置しないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- カードの IC 面には手を触れないでください。
- 分解・加工はしないでください。

■ miniB-CAS カードについて のお問い合わせ先

株式会社ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター

電話：0570-000-250
045-680-2868
(IP 電話からの場合)

受付時間：10:00～20:00
(年中無休)

ホームページアドレス：

<http://www.b-cas.co.jp>

■ miniB-CAS カードを入れる

1 ▲ キーを押す

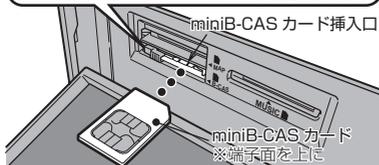
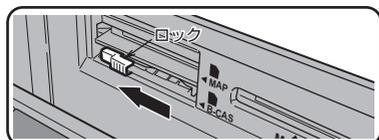
2 モニター OPEN にタッチする



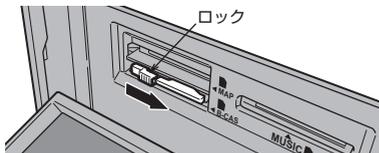
パネルが開きます。

3 miniB-CAS カードを挿入する

ロックを外し、miniB-CAS カードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。



4 ロックする



5 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えると miniB-CAS カードが機能しません。
- 画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

■ miniB-CAS カードを抜く

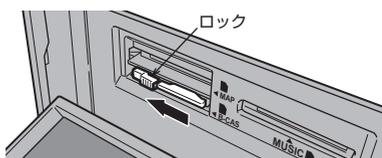
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



パネルが開きます。

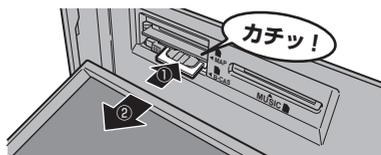
3 ロックを外す



注意

- ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

4 miniB-CAS カードを「カチッ」と音がするまで押す



カードが飛び出し抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

5 ロックする

ロックが外れているとパネルが閉まりません。

6 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 地上デジタル TV 使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。
- カードには IC(集積回路)が組み込まれているため、画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

テレビを見る

本機内蔵の地上デジタル TV チューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホーム CH スキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホーム CH スキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホーム CH の“リモコン番号”に登録する操作です。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 DTV にタッチする

3 居住地域 にタッチする



4 設定したい“地方”にタッチする



5 設定したい“都道府県”にタッチする



6 スキャン開始 にタッチする



ホーム CH スキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に [中止] にタッチすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホーム CH へ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了 にタッチする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

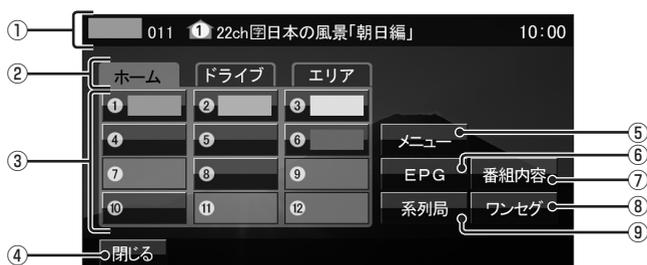
お知らせ

- ホーム CH には最大 12 局まで登録することができます。
- [キャンセル] にタッチした場合はホーム CH に登録されません。

表示内容について

画面にタッチして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバーナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

① マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

- ① : ホーム CH
- ① : ドライブ CH
- ① : エリア CH

(画面のリモコン番号は「1」)

② CHモード

ホーム にタッチすると、ホームCHスキャンで登録した放送局を選べます。

ドライブ にタッチすると、ドライブCHスキャンで登録した放送局を選べます。

エリア にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号

タッチすると、登録された放送局を表示します。タッチし続けることで“リモコン番号”の割り当てを変更することができます。

アドバイス

- ◀◀TRACK キーまたは TRACK▶▶ キーを押すと、登録した放送局をリモコン番号の順に、または逆順に選局できます。
- CHモードが[ホーム]のとき、◀◀TRACK キーまたは TRACK▶▶ キーを押し続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
- CHモードが[ドライブ]のとき、TRACK▶▶ キーを押し続けると、初期ドライブCHスキャンを行い、◀◀TRACK キーを押し続けると再ドライブCHスキャンを行います。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします

⑤ **メニュー** (P97)

各種設定を行います。

⑥ **EPG**

電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ **番組内容**

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ **ワンセグ/フルセグ**

フルセグとワンセグを切り換えます。タッチし続けることで、自動ワンセグ切り換えの設定ができます。

⑨ **系列局**

系列局の放送局を表示します。タッチし続けることで系列局サーチを開始します。

■ 走行制限の表示について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード

ホームCH にタッチすると、ホームCH スキャンで登録した放送局を選べます。

ドライブCH にタッチすると、ドライブCH スキャンで登録した放送局を選べます。

エリアCH にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号

タッチすると、登録された放送局を表示します。

④ ワンセグ/フルセグ

フルセグとワンセグを切り換えます。

⑤ 系列局サーチ

系列局サーチを開始します。再度、タッチすると中止します。

⑥ ドライブCHスキャン

タッチすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

外部入力機器

Bluetooth AUDIO を使う

本機では、市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を再生することができます。

お知らせ

- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペック通りに動作しない場合があります。
- 市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth 対応オーディオ機器を本機に接続している状態では、別機器の Bluetooth 接続によるハンズフリー機能 (P87) およびデータ通信機能はご利用になれません。(Bluetooth 対応オーディオ機器と同一機器であればハンズフリー機能をご利用になれます。)
- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になる恐れがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。

Bluetooth 対応オーディオ機器を接続する

本機と Bluetooth 対応オーディオ機器は、Bluetooth 機能を使用して接続します。接続は「Bluetooth の設定」(P96)を行ってください。以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- iPod/iPhone を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod/iPhone と iPod/USB 接続ケーブルは接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。

■ 対応プロファイルと対応機能について

各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※サンプリングレート：16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4
再生 / 停止 / 一時停止の操作	○	○	○
早送り / 早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
グループの選択操作	×	○	○
リピート / ランダム / スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
バッテリー残量の表示	×	○	○
グループリストの表示	×	×	×
グループリストからの選曲	×	×	×

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名を表示します。

② グループ名

※ AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

③ トラック名 / アーティスト名 / ジャンル名

※ AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

④ **▼ GROUP ▲**

グループを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のグループへと切り換わり、最初の曲を再生します。
※ AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

⑤ 再生モード表示

※ AVRCP が v1.0 のときや情報が取得できないときは表示しません。

⑥ バッテリー残量表示

接続している Bluetooth 対応オーディオ機器のバッテリー残量を表示します。
※ AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

⑦ Bluetooth 接続アイコン

⑧ 状態アイコン

※ AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

⑨ **⏸**

一時停止にします。

⑩ **▶**

一時停止、停止の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑪ **■**

再生を停止します。

⑫ 再生時間

※ AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

⑬ **▲**

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。
※ AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する

エコ情報を確認する

アクセルペダルやブレーキの使いかた（加速度情報）を元に判断し、運転操作がどれぐらい燃費に良いかの評価（エコ運転評価）を確認することができます。

お知らせ

- ・ エコ情報は省エネを保证するものではありません。あくまで参考情報としてご使用ください。また、道路交通法に従い、実際の交通規制や道路状況に合わせて走行してください。

表示内容について



① エコ運転評価

エコ運転評価を表示します。

② eスタートマスターレベル

アクセルペダルやブレーキの踏みかたから採点し、採点した得点量によってバーが増減します。バーが満タンになれば、レベルがアップします。（最大レベル5まで）

③ 今回のeスタートスコア

車のエンジンをかけてからの現在までのeスタートスコアを表示します。

④ 前回のeスタートスコア

前回車を利用したとき（エンジンをかけてエンジンをきるまで）のeスタートスコアを表示します。

⑤ エコ情報履歴

走行アドバイスが必要な地点を表示します。

⑥ ▲

eスタートマスターレベル、eスタートスコアを消去することができます。

ETC 情報を確認する

ETC の使いかたについて説明します。

ETC とは

ETC とは、有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことで、別売の接続ケーブルおよび ETC 車載器または DSRC 車載器を取り付けることで有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になり、料金所の出入り口で通行料金を音声と画面のテロップで案内します。また、ETC の通行履歴を表示することができます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製 ETC 車載器または DSRC 車載器と ETC カードおよび接続ケーブルが必要です。但し、モデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ETC カード未挿入や ETC 車載器または DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETC ゲート、ETC カード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせ等を表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC 車載器または DSRC 車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETC の履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認することができます。

注意

- 履歴読み込み中に ETC カードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETC に関するエラー表示があった場合、ETC カードを正しく ETC 車載器に挿入するまで ETC 履歴の画面を表示できません。
- 2002 年度以前に発売された ETC 車載器をご使用の場合は、履歴に時刻が表示されません。

アドバイス

- 履歴は最大 100 件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、- 99,999 円～ 999,999 円まで表示することができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 ETC にタッチする



ETC料金履歴		全100件	10:00
20XX年07月28日	17:51	150円	
0XX0-XX-00X			
20XX年07月28日	17:50	700円	
0XX0-XX-X05 ~ 0XX0-XX-X01			
20XX年07月28日	10:13	1000円	
0XX0-XX-X01 ~ 0XX0-XX-X05			
戻る			

全履歴情報画面を表示します。

電話を使う

電話の使いかたについて説明します。

警告



禁止

- **運転者は運転中に携帯電話を手に持って使用しない。**
走行中に携帯電話を手に持って使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- **携帯電話を放置しない。**
停車したときやカーブを曲がる時に携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



必ず行う

- **ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください。**
事故の原因となることがあります。
[ハンズフリーの設定]の「音量」で適度な音量に設定しご使用ください。
→ [INFO の設定] (P96)
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth 機能を使用して接続します。

接続は「Bluetooth の設定」(P96)を行ってください。

以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態に接続してください。
- 機器によっては接続できないものがあります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

INFO

各種情報を確認する

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

お知らせ

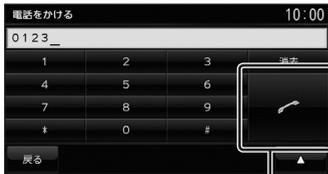
- 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により3分間に4回以上かけることができない場合があります。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 “電話番号” を入力する



オフフックキー

アドバイス

- 誤入力した場合は、[消去]にタッチして修正します。

4 “オフフックキー” にタッチする

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音があり、着信中の画面が表示されます。



電話操作パネル

1 電話操作パネルの 通話 にタッチする



通話することができます。

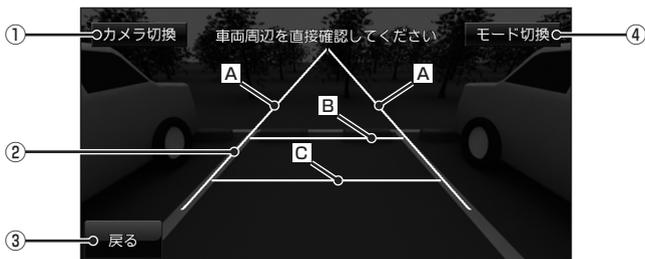
カメラを使う

別売のリアカメラまたはフロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが接続されている場合、ディスプレイに各カメラの映像を表示することができます。

お知らせ

- 接続するカメラによっては、本書で記載する内容で動作しない場合があります。
三菱電機製のリアカメラ BC-20M 以外のリアカメラを取り付けた場合はあらかじめ「リアカメラの設定」をそれぞれ行う必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。
- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラを本機に接続した場合はサブカメラの設定をあらかじめ行う必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。

表示内容について



※画面はリアカメラ（ノーマルビュー）

① カメラ切換

接続されているカメラの状況によってカメラ映像を切り換えることができます。
詳しくは「表示するには」(P90)をご覧ください。

② ガイド線

(リアカメラのノーマルビューのみ)

車両の幅や距離の目安となる線。

[A]: 車幅 + 約 20cm の目安

[B]: 車両最後尾から約 2m の目安

[C]: 車両最後尾から約 50cm の目安

③ 戻る

カメラ映像を消して直前の画面に戻ります。
[INFO] キーを押し続けると元のカメラ映像を表示します。

④ モード切換

(リアカメラ (BC-20M 接続時のみ))

カメラ映像のモードを切り換えることができます。

お知らせ

- ガイド線は、[リアカメラの設定] の [カメラガイド線の設定] で [ガイド線表示] にタッチして表示しておく必要があります。→ 「リアカメラの設定」(P96)
- [リアカメラの設定] の [カメラガイド線の設定] でガイド線をあらかじめ調整しておく必要があります。詳しくは取付要領書をご覧ください。
- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラにはガイド線を表示しません。

警告

カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

注意

- 泥や雪などが付着して固まったときは、堅い棒などでたたかず水または、ぬるま湯をかけ、柔らかい布で拭き取ってください。
- 乗車人数や積載状態によっては、カメラ映像やガイド線にズレが生じる場合があります。
- 坂道や車両が傾いている場合は、カメラ映像やガイド線にズレが生じる場合があります。

表示するには

リアカメラの映像を表示する

1 シフトポジションを「R」にする



リアカメラの映像を表示します。

アドバイス

- シフトポジションを「R」にしたまま [現在地] キーを押して現在地画面を表示すると、現在地画面に  が表示されます。
 にタッチするとリアカメラの映像に戻ることができます。
- リアカメラとサイドカメラ (サブカメラ 2) の両方が本機に接続されている場合、[カメラ切換] にタッチするとリアカメラとサイドカメラ (サブカメラ 2) の映像を切り換えることができます。

サブカメラの映像を表示する

お知らせ

- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが本機に接続されている必要があります。

1 現在地画面で、 にタッチする



※フロントカメラ映像のイメージです。

サブカメラの映像を表示します。

アドバイス

- [INFO] キーにタッチし続けることでも表示させることができます。
- [INFO] キー → [カメラ] にタッチしても表示させることができます。
- 「サブカメラの設定」(P96) で「サブカメラ 1」と「サブカメラ 2」の両方が本機に接続されている場合、[カメラ切換] にタッチするとサブカメラの映像を切り換えることができます。

FM 文字情報を見る

FM 多重放送による文字情報 (FM 文字多重放送) を確認することができます。

FM 文字多重放送とは

FM 放送電波のすき間を利用して音声と一緒に文字情報を送信するサービスです。FM 文字多重放送は、本機に接続している FM アンテナから受信して以下の情報を見ることができます。

番組情報 FM	ラジオ番組と連携した今流れている曲のタイトルやアーティスト名、リクエストの宛先などの情報。
独立情報	ラジオ番組とは関係なく、いつでも見られるニュースや天気、交通などの情報。
緊急情報	放送局が「緊急情報番組」を放送したときのみ表示させる情報。

表示するには

初期の状態では、放送局は登録されていないので、マニュアル操作による放送局の選局が必要になります。

- 1 **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2 **FM 文字情報** にタッチする
▼
マニュアル選局画面を表示します。

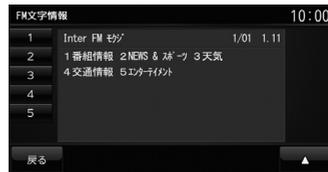
アドバイス

- すでに放送局がプリセットされている場合は、プリセット選局画面を表示します。

- 3 **▼ 周波数 ▲** にタッチし、“受信したい放送局の周波数”を選ぶ



- 4 **受信** にタッチする
▼



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。

メンテナンス情報を確認する

お車の各パーツの交換時期を管理することができます。

メンテナンス情報を表示する

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認することができます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します

2 「メンテナンス情報」 にタッチする



メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の10日前もしくは交換後の走行距離が残り200km以下となります。

3 見たい各“パーツ”にタッチする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- [前回交換日]、[メンテナンス期日]、[メンテナンス距離] にタッチするとそれぞれ変更することができます。

■ メンテナンス情報の種類について

お知らせ

- 以下、あらかじめ用意しているパーツのメンテナンス期日およびメンテナンス距離は、工場出荷時の値を示しています。
- 工場出荷時の値については、お車のメンテナンスブックなどを参考に變更しておくことをおすすめいたします。

名称	メンテナンス期日	メンテナンス距離 (km)
エンジンオイル	1 年	15,000
オイルフィルタ	1 年	15,000
AT/MT オイル	4 年	40,000
ブレーキオイル	4 年	40,000
デフオイル	8 年	80,000
タイヤ交換	1 年	10,000
タイヤローテーション	6 ヶ月	5,000
ブレーキパッド (F)	1 年	5,000
ブレーキパッド (R)	1 年	5,000
空気圧チェック	1 ヶ月	1,000
ワイパーブレード	1 ヶ月	1,000
ラジエータークーラント	4 年	40,000
バッテリー	1 ヶ月	1,000
エアフィルタ	5 年	50,000
ウォッシュャー液	1 ヶ月	1,000
ユーザー項目 1	—	—
ユーザー項目 2	—	—
ユーザー項目 3	—	—

バージョンを確認する

地図データバージョンの確認ができます

表示するには

- 1 **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します
- 2 **設定** → **バージョン情報** に
タッチする



地図データバージョンを表示します。

本機の設定

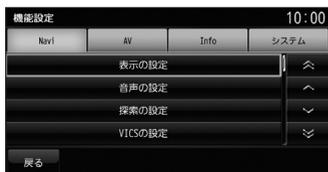
設定を変更する

本機の設定を変更します。

NAVI の設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

- 1 **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **Navi の設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

設定できる項目について

表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。
VICIS の設定	VICIS に関する設定の変更が行えます。
自転車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在の補正が行えます。

AV の設定

AV 機能に関する各設定を変更します。

- 1 **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **AV の設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

設定できる項目について

CD 録音設定	CD の録音に関する設定の変更ができます。
DVD 初期設定	DVD の初期設定の変更ができます。

INFO の設定

ハンズフリーや Bluetooth 接続、カメラなどに関する設定が行えます。

- 1 **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **Info の設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

ETC の設定	別売の接続ケーブルおよび ETC 車載器または DSRC 車載器を接続すると、ETC に関する設定が行えます。
ハンズフリーの設定	着信や受話 / 送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。
Bluetooth の設定	市販されている Bluetooth 機器を Bluetooth 機能を使って本機に接続することができます。
インターネットの設定	使用する携帯電話に応じた接続先を設定できます。
デバイス ID の表示	デバイス ID の確認ができます。
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。詳しくは取付要領書をご覧ください。
サブカメラの設定	フロントカメラまたはサイドカメラの接続設定が行えます。詳しくは取付要領書をご覧ください。
レーンアシストの設定	レーンアシスト機能に関する設定が行えます。詳しくは取付要領書をご覧ください。
エコ情報の設定	エコ情報に関する設定が行えます。

システムの設定

本機の操作音やパワーアンテナの設定、車両取付確認などが行えます。

- 1 **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2 **設定** にタッチする
- 3 **システムの設定** にタッチする
- 4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

システム音の設定	操作音量の設定が行えます。
パワーアンテナの設定	パワーアンテナに関する設定が行えます。
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。
車両取付確認	取付業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。
起動時セキュリティの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。

DTV の設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

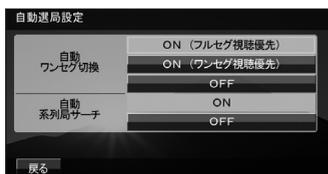
- 1 **AV** キーを押す
AV メニューを表示します。
- 2 **DTV** にタッチする
- 3 画面にタッチする
テレビの操作画面を表示します。
- 4 **メニュー** にタッチする
- 5 設定したい“項目”にタッチする



- 6 設定したい“内容”にタッチする



- 7 “設定”にタッチする



設定内容を変更します。

設定項目について

視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認することができます。
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。
初期設定	ホーム CH のやり直しや、本機内蔵の地上デジタル TV チューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

その他

困ったときは

画面にメッセージや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車、カーソルの中心が設定中のスケールがあるところからないところに移動した。 または、再びあるところに移動した。	—
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してみてください。
入力された局番はデータがありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータがありません。 代表地点を表示します。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は 5 件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを 3 回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは 3 回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
MAP スロットの地図カードが読めません。 地図カードを確認してください。	地図カードから地図データが読み込めない。	数分たっても復旧しない場合は、お車を安全な場所に停車し、SD カードの挿入状態を確認してください。 → 「SD カードについて」(P17) それでも復旧しない場合は、販売店にご相談ください。
	MAP スロットに地図カードが挿入されていない。	地図カードを挿入してください。 → 「SD カードを挿入する」(P18)
	何らかの原因で地図カードに異常が発生した。	販売店にご相談ください。
入力されたマップコードはデータがありません。	入力した MAPCODE の該当地点が見当たらなかった。	MAPCODE を再度確認してください。
入力されたマップコードはデータがありません。付近の地点を表示します。	MAPCODE の末尾の「*□□」が該当しなかった。	詳細な地点を表示させたい場合は、MAPCODE を再度確認してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでもダメなときは販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
バッテリー電圧が低いため再生できません。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
再生できません。ディスクをご確認ください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類」(P52)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
この iPod は使用できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod を使用してください。 →「iPod を再生する」(P73)
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB 機器は再生できません。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について」(P53)
	曲が入っていない iPod を接続した。	曲が入った iPod を接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なる DVD ビデオを挿入した。	リージョンコード [2] を含む DVD ビデオに交換してください。
この再生方式のディスクには対応していません。	PAL 方式で記録された DVD ビデオを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VR の読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
MUSIC スロットの SD カードを認識できません。	音楽用 SD カードの読み込みに失敗した。	音楽用 SD カードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。MUSIC スロットに挿入してください。→「SD カードの曲を聴く」(P65)
MUSIC スロットの SD カードは使用できません。	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。MUSIC スロットに挿入してください。→「SD カードの曲を聴く」(P65)
MUSIC スロット側に音楽用 SD カードが挿入されていません。	音楽用 SD カードが MUSIC スロットに挿入されていない。	本機対応の SD カードを MUSIC スロットに挿入してください。
MUSIC スロットの SD カードに書き込みできません。SD カードを確認してください。	音楽用 SD カードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	音楽用 SD カードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SD カードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	音楽用 SD カードの容量がいっぱいになったため、MusicFolder に録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽 CD に交換してください。
		別の音楽用 SD カードに交換してください。
高温のため録音できません。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため録音できません。	本機の内部温度が低い。	
BD プレーヤーとの通信ができません。取扱説明書を確認してください。	本機が Blu-ray [®] プレーヤーとの接続を正しく認識できない状態にある。	Blu-ray [®] プレーヤーとの接続が正しく行われているかご確認ください。Blu-ray [®] プレーヤーの接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
この IC カードは使用できません	使用できないカードが挿入されている。	正しいカードを挿入してください。 →「miniB-CAS カードを入れる」(P79)
IC カードにアクセスできません。IC カードを入れ直してみてください 直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください	カードが故障しているか、間違ったカードを挿入している。	
		カードが故障している。
IC カードを挿入されていないかロックが外れています。	カードが挿入されていない。または、ロックが外れている。	カードを正しく挿入してください。または、カードのロックを確認してください。 →「miniB-CAS カードを入れる」(P79)
放送局が登録されていません。ホーム CH スキャンを実行してください	ホーム CH に放送局が登録されていない。	ホーム CH スキャンを実行して放送局を登録してください。 →「はじめてテレビを見るとき」(P80)
放送局が登録されていません ドライブ CH スキャンを実行してください	ドライブ CH に放送局が登録されていない。	ドライブ CH スキャンを実行して放送局を登録してください。 →「表示内容について」(P81)

■ ETC 機能

別売の ETC 車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC 車載器がセットアップされていません。	ETC 車載器がセットアップされていない。	セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。
ETC カードが挿入されていません。	ETC カードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを ETC 車載器に正しく挿入してください。
ETC カードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETC カードの有効期限が近づいている。	ETC カードの有効期限が過ぎる前に新しい ETC カードを挿入してください。
ETC カードの有効期限が過ぎています。 ETC カードを確認してください。	有効期限が過ぎた ETC カードを挿入している。	有効期限が過ぎていない ETC カードを挿入してください。
ETC カードの挿入を確認してください。	ETC カードが未挿入または正しく挿入されていない。	ETC カードを正しく挿入してください。
ETC カードを確認してください。	ETC カードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを ETC 車載器に正しく挿入してください。
	ETC カードの金属端子 (IC チップ) 部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETC カードの読み取り処理中にカードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
	ETC カードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しい ETC カードまたはセットアップカードを挿入してください。
	何らかの異常で、セットアップが正しく行われなかった。	再度セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。同じエラーが繰り返される場合は、販売店にご相談ください。
ETC 車載器を確認してください。	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC 通信エラーです。	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

オンデマンド VICS (→ P44)

携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などの VICS 情報を取得することができます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ Bluetooth 接続ができる DUN プロファイルに対応した携帯電話が必要です。

※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

オンライン受信 (→ P44)

携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。

オンライン受信では、「オンデマンド VICS」と「スマートループ渋滞情報[®]」の受信が可能です。

細街路

道幅の狭い一部の道路。100m スケール以下の地図で表示することができます。

走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図

スケール 10/25/50m で表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自車

本機を装着しているお客さまのお車のことです。

ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

スマートループ渋滞情報[®] (→ P44)

本製品のスマートループ渋滞情報[®]は、パイオニア カロツツェリア カーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS 渋滞情報と合わせて全国約 70 万 km におよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※ Bluetooth 接続ができる DUN プロファイルに対応した携帯電話が必要です。

※ 会員登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

スマート IC

スマート IC (スマートインターチェンジ) は、ETC 車載器または DSRC 車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡

地図には、自車が走ってきた道に印 (点線) がつきます。この印 (点線) を走行軌跡といいます。

測位

GPS 衛星からの電波を受信して、自車の位置を測位することです。

電波ビーコン (→ P44)

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されています。

光ビーコン (→ P44)

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されています。

マップコード

特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「*」（アスタリスク）でその場所を特定することができるものです。

従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

電話番号 0566-61-4210

受付時間 10:00～12:00

13:00～16:00

(土・日、会社休日を除く)

ホームページ

<http://guide2.e-mapcode.com/>

マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク (→ P28)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

レーンアシスト (→ P33)

高速路図 (P36) が表示可能な高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、またははみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。

DSRC (ディーエスアールシー) (→ P49)

DSRC(Dedicated Short Range Communication)とは専用狭域(きょういき)通信の略称で、ETCを含めて路側と車載器間で利用される通信方式です。また、この通信方式を利用して提供されるサービスのうち、ETC以外のサービスのことをDSRCと呼んでETCと区別して用いることもあります。

ETC (→ P86)

有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことで、ETC 車載器を取り付けることで有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。

FM 多重放送 (→ P91)

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

GPS (ジーピーエス) (→ P26)

GPS は、Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム) の略称です。GPS は、米国が開発運用しているシステムで、高度約 21,000km の宇宙空間で、周回している 4 つ以上の GPS 衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

OpenInfo

OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。

OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。

また、高速道路の開通道路情報や最新の電気自動車用充電スタンド情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。OpenInfo では、以下の機能がご利用になります。

- スマートループ渋滞情報[®] (→ P44)
- 開通道路情報更新
- 充電スタンド情報更新

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。別紙「OpenInfo サービスユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。

VICS(ビックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略称です。VICS レシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

3D リアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけて再生

音楽 CD を録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。その間も録音はつづけられます。

プレイリスト

MusicFolder に音楽 CD の曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

ID3-Tag

MP3 ファイルの終わりに、曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / 製作年度 / コメント / 音楽ジャンルを 128 バイトの固定の長さにしファイルとして格納しています。

MusicFolder(→ P68)

挿入した音楽 CD の曲を、音楽用 SD カードに録音する機能です。

DVD ビデオ関連用語

DVD ビデオに関する用語を説明します。

言語コード

DVD ビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル

DVD ビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。

※ 続き再生ができるときは  が点滅し、できないときは  が表示されます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには  が記載されています。

レターボックス画面

ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。ビデオのパッケージに  と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

ワイドソフト

ワイドテレビ(横16:縦9)で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

dts

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC

カラーテレビの方式。

日本ではNTSC方式が採用されており、本機もNTSC方式専用となっています。他のテレビ方式(PAL方式、SECAM方式)で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM

音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリア CH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることが出来る放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブ CH

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためにあります。

物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号（13ch～62chまで）のことを言います。

フルセグ

家庭用の地上デジタル TV 放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホーム CH

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタル TV 放送のことで、1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。

CHモード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホーム CH」、「ドライブ CH」、「エリア CH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

EPG

Electronic Program Guide の略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことで、

3桁チャンネル番号

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わせられた番号のことです。フルセグでは011番から、ワンセグでは611番から始まります。

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

案内開始	38,39
エコ運転評価	85
エコ情報	25,85
エコ情報履歴	85
エリア	81,82
エリア CH	107
追いかけて再生	105
オーディオ機能	50
音楽 CD	56
音楽ファイル	53,59
音声の設定	95
オンデマンド VICS	44,103
オンライン受信	44,103
オンラインで受信する	48

カ行

ガイド線	89
各アイコン	29
カメラ	25,89
観光ルート	23
経由地	39
系列局	81
系列局サーチ	82
言語コード	106
現在地	15,27,29
高速道路情報	36
交通情報	24,55
小文字 / 大文字	21

サ行

細街路	103
再生できるディスクの種類	52
サブカメラ	90
サブメニュー	30,57,60,77
市街地地図	103
自車	103
自車位置の補正	95
システムの設定	96
施設ジャンル	23
施設名称	23
施設名称入力用キーボード	22
自宅	23,37,42
視聴設定	97
ジャイロセンサー	103
車速センサー	103
住所	23
渋滞予測経路	39
周辺検索	23
受信機設定	97
仕様	115
省エネ情報	39
商標	8
情報確認	97
初期設定	97
スクロール	28,32
スケール	32
スケールアイコン	32
スマート IC	36,103
スマートループ	
渋滞情報 [®]	44,103
設定	25
センシングリルート	103
全ルート	40
走行軌跡	103
走行制限	82
走行中の操作制限	8
測位	103

タ行

タイトル	106
タイトル情報	56,58
タッチ操作	20
タブスイッチ	20
探索条件	39,41
探索条件設定	39
探索の設定	95
地上デジタル TV	78
地図データ更新	25
地点メニュー	28,30
チャプター	106
続き再生	106
ディスク挿入口	16
ディスクを取り出す	51
ディスプレイ	15
電波ビーコン	44,103
電話	25
電話 / 郵便番号	23
電話をかける	88
電話を使う	87
登録地	42
登録地情報	43
登録地の設定	42
登録地 / 履歴	23
ドライブ	81,82
ドライブ CH	107
ドライブ CH スキャン	82
ドルビーデジタル	106

ナ行

ナビ画面	27
ノーマルパナー	81

ハ行

バージョン情報.....	94
半角 / 全角.....	21
番組内容.....	81
光ビーコン.....	44,103
ビデオ再生情報画面.....	74
ビデオメニュー.....	75
表示の設定.....	95
フォルダの構成.....	53
物理チャンネル番号.....	107
プリセットスイッチ.....	54
フルセグ.....	107
プレイリスト.....	105
変換.....	21
方位アイコン.....	31
放送モード.....	107
ホーム.....	81,82
ホーム CH.....	107
ホーム CH スキャン.....	80
本機.....	15
本機の設定.....	95

マ行

マップコード.....	104
マップマッチング.....	26,104
マルチアングル.....	106
マルチ編成.....	107
ミュージックメニュー.....	74
無変換.....	21
メッセージ.....	98
メニュー.....	81
免責事項.....	6
メンテナンス情報.....	25,92
目的地の設定.....	37
文字入力.....	21
モニター OPEN.....	18

ヤ行

用語解説.....	103
-----------	-----

ラ行

ラジオ.....	54
ランドマーク.....	104
リアカメラ.....	90
(リニア)PCM.....	106
リモコン番号.....	81,82,107
ルート消去.....	41
ルートの確認.....	40
ルートの変更.....	41
ルート編集.....	23,41
レーンアシスト.....	104
レターボックス画面.....	106
録音する.....	67

ワ行

ワイドソフト.....	106
ワンセグ.....	107
ワンセグ / フルセグ.....	81

A

AM.....	54
Audio OFF.....	24,50
Audio ON.....	24,50
AUX.....	24
AV.....	15,50
AV の設定.....	95
AV メニュー.....	24

B

Bluetooth AUDIO.....	24,83
Blu-ray®.....	24

C

CH モード.....	81,82,107
CPRM.....	106

D

DISC.....	24
DSRC.....	49,104
dts.....	106
DTV.....	24,80
DTV の設定.....	97
DVD ビデオ.....	61

E

EPG.....	81,107
ETC.....	25,86,104
ETC の履歴.....	86
e スタートマスターレベル.....	85

F

FM1.....	54
FM2.....	54
FM 多重放送.....	44,104
FM 文字情報.....	25,91

G

GPS.....	26,104
Gracenote.....	112

I

ID3-Tag.....	105
INFO.....	15
Info の設定.....	96
INFO メニュー.....	25
iPod.....	24,73

M

MAPCODE.....	23
MAP スロット.....	16,18
miniB-CAS カード.....	78
miniB-CAS カード挿入口.....	16
MPEG.....	106
MusicFolder.....	105
MusicFolder を聴く.....	68
MUSIC スロット.....	16,18

N

NAVI..... 15
 NAVI の設定95
 NAVI メニュー23,29
 NTSC..... 106

数字

3D リアルジャンクション... 105
 3 桁チャンネル番号..... 107
 5 ルート39

O

OpenInfo8,104

P

P.ANT OFF.....24
 P.ANT ON24
 PLAYLIST 69,70,71

R

RADIO24

S

SD/MusicFolder24
 SD カード..... 17
 SD カードの曲を聴く.....65

T

TITLE62,63
 TUNE.....54

U

USB.....24
 USB デバイス76
 USB メモリ24

V

VICS..... 44,105
 VICS 記号.....47
 VICS スイッチ45
 VICS センター47
 VICS の設定95
 VOL 15

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入 < 販売店印 > < お買い上げ日 > および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は ▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
-------------	--

保証期間経過後の修理は ▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。
---------------	---

- 三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 6 年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店が弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱カーインフォメーションセンターにお申しつけください。

お問い合わせ先 三菱カーインフォメーションセンター
フリーダイヤル **0120-182-710**
(土・日・祝日・弊社の休日は除く / 9:00 ~ 17:30)

Gracenote サービスについて

■ 著作権について

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ :copyright © 2000-present Gracenote.
Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.

本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。

Gracenote、CDDb、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および
"Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2011

Flash エンドユーザーライセンス

本製品に組み込まれているソフトウェアには、Adobe Systems Incorporated、Adobe Systems Software Ireland Limited (“Adobe 社”) および BSQUARE Corporation (“BSQUARE 社”) が保有する Flash Lite ソフトウェア (本ソフトウェア) が含まれています。本ソフトウェアは以下の条項にお客様が同意された場合にのみ、その条項に従って使用することができます。

1. 本ソフトウェアに関する禁止事項

- (1) 本ソフトウェアの複製および頒布を行わない。
- (2) 本ソフトウェアの改変、二次的著作物の作成を行わない。
- (3) 本ソフトウェアの逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル及びその他人間が知覚可能な形態への変換を行わない。

2. 本ソフトウェアに係る免責および救済

- (1) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害および派生的損害並びに、その他の損害が生じた場合であっても、免責されるものとします。
- (2) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、本ソフトウェア品質並びに性能等を含み、一切について保証しないものとします。
- (3) 三菱電機株式会社がお客様に対して負う責任は、本製品の価格を上限とします。
- (4) お客様が本製品に関し請求できる救済手段は、三菱電機株式会社に対する返品および返金の請求のみであり上記以外の如何なる救済も請求できないものとします。

商標について

Copyright © 1995-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Macromedia、Flash、Macromedia Flash、および Macromedia Flash Lite は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数	1575.42MHz	
受信方式	パラレル 12 チャンネル	
受信感度	- 130dBm	
測位更新時間	約 1 秒	
地図カード部	8GB	
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω
イコライザー部	7バンドグラフィックイコライザー	63/125/315/700/2k/4k/10k Hz 調整幅レベル：± 12dB
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD ± R/RW ^{※1} 、 CD-DA、CD-R/RW(MP3、WMA、AAC フォーマット) ※ 1)VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	5Hz ~ 20,000Hz(CD-DA)
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05%以下
FM/AM 部	受信周波数範囲	FM:76.0 ~ 90.0MHz AM:522 ~ 1629kHz
	実用感度	FM:12dBf AM:32dB μ
	S/N	FM:60dB IHF-A AM:50dB
	左右分離度	FM:20dB(1kHz)
地上デジタル TV 部	放送方式	地上デジタル放送方式(日本)
	受信チャンネル	13 ~ 62ch
	アンテナ	専用アンテナ
MusicFolder 部	形式	SD-Audio 規格
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05%以下
音楽用 SD カード部	対応容量	最大 32GB(SDHC 規格対応 /CPRM 対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05%以下
GPS アンテナ		
防水	防噴流仕様	
方式	マイクロストリップ平面アンテナ	
モニター		
画面サイズ	7 インチ WVGA	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログ(フィルム + ガラス)	

次のページにつづく

外部接続	
外部入力 (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p 音声 : 2.0Vrms MAX(1kHz)
外部出力 (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p 音声 : 2.0Vrms(1kHz 0dB)
カメラ入力 (RCA 3 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p
電源・寸法・質量	
使用電源	DC13.2V(マイナスアース)
最大消費電流	MAX13A
動作温度	-10℃～ +55℃
外形寸法	約 幅 180 ×高さ 100 ×奥行き 184mm
質量	約 3.3kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)